

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 蒙古文語及び中国領内の満洲・ツングース諸語における対応する接尾辞について：特に女真語・満洲文語・錫伯語・三家子満洲口語及び鄂温克語・鄂倫春語・赫哲語を取り上げて    |
| Author(s)    | 塩谷, 茂樹  |
| Citation     | 大阪外国語大学論集. 2004, 30, p. 109-148   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/79936">https://hdl.handle.net/11094/79936</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

蒙古文語及び中国領内の満洲・ツングース諸語における対応する接尾辞について  
—特に女真語・満洲文語・錫伯語・三家子満洲口語及び  
鄂温克語・鄂倫春語・赫哲語を取り上げて

塩谷茂樹

On the corresponding suffixes between Written Mongolian  
and the Manchu-Tungusic languages in China  
— in special reference to Jurchen, Written Manchu, Sibe,  
Spoken Manchu in Sanjiazi, Ewenki, Orochen, and Hezhen

SHIOTANI Shigeki

[目次]

0. はじめに
1. 出名名詞接尾辞 (Denominal nominal suffixes /N→N)
2. 出動名詞接尾辞 (Deverbal nominal suffixes /V→N)
3. 出名動詞接尾辞 (Denominal verbal suffixes /N→V)
4. 出動動詞接尾辞 (Deverbal verbal suffixes /V→V)
5. 出小動詞接尾辞 (Departicle verbal suffixes /P→V)

0. はじめに

満洲語は、他のツングース諸語とは特に文法構造、語彙の面で異なる点が少なくなく、ツングース諸語全体の中で特異な位置を占めている。これは、長期にわたる漢語との接触、モンゴル語からの影響、文語による標準化の推進、さらには周辺諸民族間で一種の共通語として使われたことなどが原因で、「文法の単純化」が進んだ結果と見られる(津曲(2002:127))。

本稿は、このうちモンゴル語と満洲語、とりわけ蒙古文語と満洲文語における構詞法の類似性に着目し、両者に共通し対応して見られる接尾辞(原則として派生接尾辞を指し、語尾は含まないが、語尾から派生接尾辞に転化したものは一部含むものとする)を網羅的に取り上げ、今後これら相互間における接尾辞の親縁関係を論ずる上で、明確な研究資料を提供することを目的とするものである。

ただし、以下のいくつかの点にあらかじめ注意していただきたい。

1) 蒙古文語と満洲文語の接尾辞を比較する際、他の満洲・ツングース諸語の諸形式を併記することにより、できるだけ全体から客観的な判断ができるように努めた。ただし、ツングース諸語が地域的にあまりにも広範に分布し、また方言的に代表的なものを挙げると少なくとも10種類余りにものぼり、記述が極めて繁雑になるため、敢えて地域を「中国

領内」に限定して記述した。その一方で、満洲文語以外の満洲諸語、すなわち女真語、錫伯語、現代満洲語（三家子満洲口語）、とりわけ後者二つの言語に関しては、近年の研究成果を十分に利用し、これらの構詞法の分析、記述に力を注いだ。

2) 蒙古文語のある接尾辞が、満洲文語や他の満洲・ツングース諸語の接尾辞と対応するかどうかの判断はすべて私見に拠ったが、中には判断が困難で、今後再検討すべき可能性のあるものもある。またここで言う接尾辞の対応とは、形態的対応 (**morphological correspondence**) と意味的対応 (**semantic correspondence**) の両方を含むものとし、両者は明確に区別して記述した。特に形態的対応に関しては、将来的に同源、借用の判断をすることが可能であろうが、これはどういう立場をとるかによって全く異なるので、ここでは敢えて個々の接尾辞に対して同源、借用の判断は下さなかった。ただし、接尾辞の形態素分析や接尾辞の形態的特徴、その他方言間における接尾辞の分布などから、一方から他方への借用の可能性がかなり高いと判断されるものに関してのみ、敢えて符号 (<) を使って明示した。

3) 蒙古文語の接尾辞の表示する意味は、原則としてモンゴル語ハルハ方言（モンゴル国の標準語）に見える接尾辞の意味に基づいて呈示したものであり、形態的に対応すると思われる満洲文語やその他の満洲・ツングース諸語の接尾辞の意味と必ずしも完全に一致するものではない。また満洲・ツングース諸語の接尾辞の表示する意味は、参考にした文献資料にすでに明示されている場合に限り引用し記述したが、それ以外の場合は敢えて意味記述は行わなかった。蒙古文語の接尾辞及びそれを含む諸例には、キリル文字表記によるモンゴル語ハルハ方言の形をかっこに入れて併記した。ただし、満洲文語が見出し語となって蒙古文語と比較する場合には、モンゴル語ハルハ方言の形は併記していない。

以下、本稿で取り扱う言語の概略は次のようである。ここでは主に池上（1989）、津曲（2002）他を参考にした。

女真語：中国東北地方に金王朝（1115-1234）を建てた女真族の言語で、明代（1368-1644）まで使われたが、現在では死語である。独自の「女真文字」を有する。代表的資料に明代に編纂された『華夷訳語』中の『女真館訳語』がある。女真語は、一般に古い満洲語か、あるいはその方言であったと考えられる。

満洲語：中国の清朝（1616-1912）を建てた満洲族の公用語で、「モンゴル文字」をもとに改変した独自の「満洲文字」を有する。代表的資料に『満洲実録』、『御製五体清文鑑』などを始め、極めて膨大な満洲語文献がある。満洲語はかなり早い時期に漢語に吸収されたため、現在では満洲語を口語として話す人は数少ない。そのため、通常満洲語と言えば、満洲文字で書かれた満洲文語を指すことが多い。

錫伯語：新疆ウイグル自治区の伊寧地方の察布査爾錫伯自治県などに居住する錫伯族によって話される。「満洲文字」をわずかに改変した「錫伯文字」による文語を有

する。錫伯族は、18世紀の半ば満洲から辺境防備のため派遣された駐留軍の子孫であり、錫伯語は、満洲語の一方言と見なすことができる。

現代満洲語：中国・黒龍江省愛琿県大五家子、同じく富裕県三家子などで満洲語が現在なお口語として話される。なかでも、富裕県三家子の満洲語が最も保存状態がよいとされる。代表的研究に恩和巴圖 (1995) 他がある。

鄂温克語：中国・内蒙古自治区呼倫貝爾地方や黒龍江省の数ヶ所などに分布する鄂温克族によって話される。なかでも、呼倫貝爾盟鄂温克族自治旗に最も多く集中している。ソロン語 (Solon) と呼ばれる。

鄂倫春語：中国・内蒙古自治区呼倫貝爾盟の鄂倫春自治旗、莫力達瓦達斡爾族自治旗、及び黒龍江省の三つの地区に分布する鄂倫春族によって話される。なかでも、鄂倫春自治旗の人口が比較的多い。鄂倫春語は、ツングース諸語のエウエンキ一語 (Evenki) に属する。

赫哲語：中国・黒龍江省の黒龍江、松花江、烏蘇里江沿岸の同江県街津口、八岔や饒河県西林子に居住する赫哲族によって話される。中国では赫哲語を自由に話せる人は60歳以上であり、話者人口も極めて少ない。赫哲語は、ツングース諸語のナーナイ語 (Nanai) に属する。

なお、本稿で用いる略号は次のようである。

**Mo** : 蒙古文語 (Written Mongolian)

**Ma-Tung** : 満洲・ツングース諸語 (Manchu-Tungusic languages)

**Jur** : 女真語 (Jurchen)

**Ma** : 満洲文語 (Written Manchu)

**Si** : 錫伯語 (Sibe [ɕivə])

**San** : 三家子満洲口語 (Spoken Manchu in Sanjiazi)

**Ew** : 鄂温克語 (Ewenki [əwəŋxi])

**Or** : 鄂倫春語 (Orochen [oroŋɕe:n])

**He** : 赫哲語 (Hezhen [χədʒən])

**Tur** : チュルク語 (Turkic)

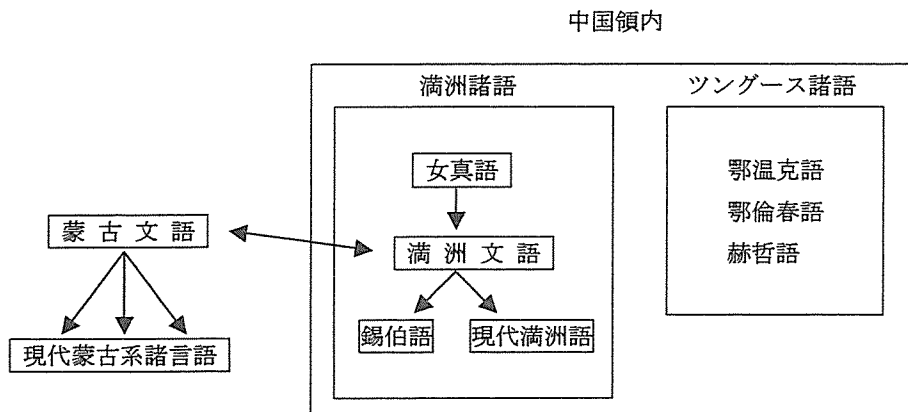
**Ch** : 漢語 (Chinese)

~ : 音韻的に条件付けられた異形態

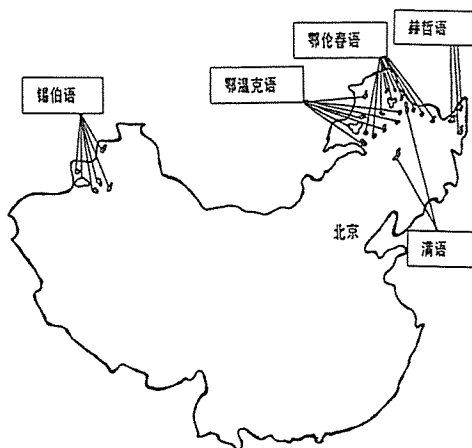
∞ : 形態的に条件付けられた異形態

蒙古文語及び中国領内の満洲・ツングース諸語における対応する接尾辞について一特に女真語・満洲文語・錫伯語・三家子満洲口語及び鄂温克語・鄂倫春語・赫哲語を取り上げて

a) 言語間の関係略図



b) 中国領内の満洲・ツングース諸語分布図 (朝克 (1997:358) より)



c) 中国領内の満洲・ツングース諸族人口 (津曲 (2002:126) より)

(1990:かっこ内は推定話者数)

|      |                    |
|------|--------------------|
| 満洲族  | 9,821,180 ( 70 )   |
| 錫伯族  | 172,847 ( 26,760 ) |
| 鄂温克族 | 26,315 ( 17,000 )  |
| 鄂倫春族 | 6,965 ( 2,240 )    |
| 赫哲族  | 4,245 ( 40 )       |

1. 出名名詞接尾辞 (Denominal nominal suffixes /N→N)

① **Mo. -bči** (-вч) (< Ma-Tung.\* -ptun (N→N))

《物を覆う装具を示す》

**čikibči** (чихэвч) 《耳当て》 (< **čiki** (чих) 《耳》)

**quruγubči** (хуруувч) 《指貫き》 (< **quruγu** (хуруу) 《指》)

/ **Ma. ---**

**Ew. -ttun, -ttun** (< -ptun, -ptun)

《あるものを囲むものを示す》

**Or. -ptun, -ptun**

《あるものを囲んだり、覆うものを示す》

**Ew. unaxatton** 《指輪、指貫き》 (< unaxan 《指》)

**əruguttun** 《矢を射るときに用いる骨製の親指サック》 (< ərugun 《親指》)

**Or. unjaka:ptun** 《指輪》 (< unjaka:n 《指》)

**fɛ:nptun** 《耳当て》 (< fɛ:n 《耳》)

**urugəptun** 《骨製の親指サック》 (< urugun 《親指》)

**dʒyɛptun** 《よだれかけ》 (< dʒyɛ 《よだれ》)

② **Mo. -bur, -bir** (-вар\* (-бар\*))

《若干の色彩語の程度がやや弱い意を示す》

**čayabur** (цагаавар) 《白味がかつた》 (< **čayan** (цагаан) 《白い》)

**ulabur** (улбар) 《赤味がかつた》 (< **ulayan** (улаан) 《赤い》)

/ **Ma. -buru, -boro** (< Mo. )

**fulaburu** 《紺色》 (< **fulahûn** 《淡紅色》; **fulgiyan** 《赤い》)

**šaburu** 《白色を帯びた》 (< **šahûn** 《淡白》; **šanggiyan** 《白い》)

**nioboro** 《濃緑》 (< **niohon** 《薄緑》; **niowanggiyan** 《緑の》)

**soboro** 《淡い黄緑色》 (< **sohon** 《黄緑色》)

③ **Mo. -či / -čin** (-ч / -чин)

《行為者名詞形成 (～にたずさわる人)》

**emči** (эмч) 《医者》 (< **em** (эм) 《薬》)

**jiloyoči** (жолооч) 《運転手》 (< **jiloyo** (жолоо) 《手綱、ハンドル》)

/ **ažilčin** (ажилчин) 《労働者》 (< **ažil** (ажил) 《仕事》)

**malčin** (малчин) 《牧民》 (< **mal** (мал) 《家畜》)

/ **Ma. -si, -ci** ∞ **-ji, -ju**

**Si. -ci** 《行為者》 ∞ **-dzi** 《ある特徴を有する人（女の子の名前）》

**San. -ŋɿ**

**Ew. -ʃɪn, -ʃin** 《その職業あるいは活動に従事する人を表示する》

**Or. -ʃɪn, -ʃin** 《その職業あるいは活動に従事する人を表示する》

**He. -tɕin**

**Ma : oktoŋi** 《医者》（ < okto 《薬》）

**bitheŋi** 《筆帖式》（ < bithe 《文書》）

/ **aduci** 《放牧人》（ < adun 《家畜の群れ》）

**sejeci** 《車夫》（ < sejen 《車》）

/ **boigoji** 《主人》（ < boigon 《一戸、家》）

**boihoju** 《土地の神》（ < boihon 《土》）

**Si : aduci** 《放牧人》（ < adun 《家畜の群れ》）

**kumuçi** 《音楽家》（ < kumun 《音楽》）

**uciçi** 《農民》（ < ucin 《田》）

**vəiləçi** 《労働者》（ < vəilən 《仕事》）

/ **matʃuχ undzi** 《やせた女の子につける名前》（ < matʃuχ un 《やせた》）

**sujandzi** 《膚が黄色い女の子につける名前》（ < sujan 《黄色の》）

**jətɕindzi** 《膚が黒い女の子につける名前》（ < jətɕin 《黒い》）

**San : bitkəŋɿ** 《書記、秘書、筆帖式》（ < bitkə 《書物、本》）

**Ew : xunɪʃɪn** 《羊飼い》（ < xunɪn 《羊》）

**i:xəʃɪn** 《料理人》（ < i:xə 《鍋》）

**Or : adɔʃɪn** 《馬飼い》（ < adon 《馬群》）

**i:kəʃɪn** 《料理人》（ < i:kə 《鍋》）

**He : damxitɕin** 《たばこを吸う人》（ < damxi 《たばこ》）

**ɕoχ olotɕin** 《物語を語る人》（ < ɕoχ olo 《物語》）

<考察>

**Mo. -çi / -čɪn** は、**Ma.** では音声的に **-si** と **-ci** の 2 形式に対応し、両者の使い分けには何ら規則性を見出すことはできないが、**Si.** ではそれが一律に **-ci** となって現れている。このことは、上例の **Ma. aduci** , **Si. aduci** より明らかであるだけでなく、現在の錫伯文語でも口語を踏襲した **adusi**（この形は **Ma.** では実証されない）という形で書かれていることから裏付けを得ることができる。

④ **Mo. -yan, -gen**（-aah<sup>4</sup>）

《名詞語幹形成辞》

**ulaγan** (улаан) 《赤い》  
**čaγan** ( < \*čaγaγan ) (цагаан) 《白い》  
**noγoγan** (НОГООН) 《緑の》  
**gegegen** (ГЭГЭЭН) 《明るい》

/ **Jur. -giyan, -giyen** 《名詞語幹形成辞》

**Ma. -giyan, -giyen**

**Jur :** **fulagiyan** (617) 《赤い》  
**šangiyan** (619) 《白い》  
**niyongiyan** (616) 《青い》  
 / **gengiyan** (608) 《明るい》  
**farigiyan** (609) 《暗い》

**Ma :** **fulgiyan** 《赤い》  
**šanggiyan** 《白い》  
**niowanggiyan** 《緑の》  
 / **genggiyan** 《明るい》

⑤ **Mo. -ki** (-x)

《関係形容詞・所属名詞形成 (～の、のもの)》

**emüneki** (ӨМНӨХ) 《前の》 ( < **emüne** (ӨМНӨ) 《前に》 )  
**minüki** (МИНИЙХ) 《私のもの》 ( < **minü** (МИНИЙ) 《私の》 )

/ **Jur. -rgai**

**Ma. -rgi** ( < \*-ri + gi )

**Si. -rxi** ∞ -xi

**San. -γ i :** , -r γ i : ∞ -l γ i :

**Ew. -gu** , -gu

**Or. -gu** , -gu

**Jur :** **amurgai** (599) 《後》

**Ma :** **amargi** 《後ろの》 ( cf. **amari** 《後ろに》 , **amasi** 《後ろへ》 )

**julergi** 《前の》 ( cf. **juleri** 《前に》 , **julesi** 《前へ》 )

**dergi** 《上の》 ( cf. **deleri** 《上に》 , **delesi** 《上へ》 )

**fejergi** 《下の》 ( cf. **fejiri** 《下に》 , **fejile** 《下》 )

**dorgi** 《中の》 ( cf. **dolori** 《中に》 , **dolo** 《中》 )

**tulergi** 《外の》 ( cf. **tule** 《外に》 , **tulesi** 《外へ》 )

**wargi** 《西の》 ( cf. **wala** 《下部、西側》 )



**Si:** amərxi 《後ろ、北》

dzulərxi 《前、南》

dirxi 《上、西》

fədzirxi 《下》

dərxi 《中》

/ tylxi 《外》

**San:** amγi: 《北、後ろ》

dzulγi: 《南、前》

fedziγi: 《下、下側》

tulγi: 《外、外側》

tceγi: 《あちら、向こう》

/ dərγi: 《西》

vərγi: 《東》

/ dɔlγi: 《中、内》

**Ew:** amɛ:gu 《後ろの、北の》 ( < amɛ:- 《後ろ、北》)

dɔ:gu 《中の》 ( < dɔ:- 《中》)

dɔsuligu 《前の、南の》 ( < dɔsul- 《前、南》)

tuləgu 《外の》 ( < tul- 《外》)

**Or:** amargu 《後ろの》 ( < amar- 《後ろ》)

fɔlɔgu 《上流の》 ( < fɔlɔ- 《上流》)

tuləgu 《外の》 ( < tul- 《外》)

adɔigu 《下流の》 ( < adɔi- 《下流》)

⑥ **Mo. -lang, -leng** ( < -la<sup>2</sup>-(N→V)-ng (V→N) ) (-лан<sup>4</sup>)

《語幹に関連ある意を示す》

**duyuyilang** (дугуйлан) 《サークル、グループ》

( < duyuyila- (дугуйла-) 《円をつくる》 < duyui (дугуй) 《円い》)

**küriyeleng** (хүрээлэн) 《研究所》 ( < küriyele- (хүрээлэ-) 《取り囲む》

< küriye (хүрээ) 《囲い》)

/ **Ma. -lan, -len, -lon** ∞ **-liyan, -liyen**

( < -la<sup>3</sup>-(N→V)-n (V→N) )

**baitalan** 《必需品、費用》 ( < baitala- 《用いる》 < baita 《事》)

**cihalan** 《望み、好み》 ( < cihala- 《欲する、好む》 < ciha 《欲望》)

**dorolon** 《礼》 ( < dorolo- 《礼を尽くす》 < doro 《道理》)

/ **subeliven** 《練り糸》 ( < sube 《筋》)

- ⑦ **Mo. -liy, -lig** ( < Tur. -lîy, -lig (N→N) (-лар⁴) )  
 《～をもった(もの)、～の性質を帯びた(もの)》  
**miqaliy** (махлар) 《肉づきのよい》 ( < **miqa** (мах) 《肉》 )  
**temürlic** (төмөрлөг) 《金属》 ( < **temür** (төмөр) 《鉄》 )  
 / **Ma. -linggû, -linggu** 《～のある、～をもった》  
**Si. -liq** 《形容詞形成》  
**San. -liq**  
**Or. -ruk** 《語幹の意と関係ある容器の名称を表示する》

**Ma : anggalinggû** 《口のうまい》 ( < **angga** 《口》 )  
**defelinggu** 《まるのままの反物》 ( < **defe** 《(織物の) 一反》 )  
**Si : ambaliq** 《堂々とした、偉大な》 ( < **ambu** 《大きい》 )  
**əxəliq** 《凶悪な》 ( < **əx** 《悪い》 )  
**San : ambaliq** 《穏やかな、妥当な》 ( < **amba** 《大きい》 )  
**Or : inmərük** 《針箱》 ( < **inmə** 《針》 )  
**imukfərük** 《油を入れるもの》 ( < **imukfə** 《油》 )

- ⑧ **Mo. -na, -ne** (-на⁴)  
 《(特定の)場所表示》  
**qoyina** (хойно) 《北、後ろ》      **γadana** (гадна) 《外に》  
**emüne** (өмнө) 《南、前》      **naγana** (нааһна) 《こちら側に》  
 / **Jur. -le, -lo**  
**Ma. -la, -le, -lo**  
**Si. -l** ∞ -lo  
**San. -l** ∞ -le  
**Ew. -la:, -lə:, -lo:**  
**Or. -la:, -lə:**

**Jur : fuḷile** (595) 《下》  
**ḷile** (598) 《前》  
**tulile** (601) 《外》  
**dolo** (600) 《内》  
**Ma : amala** 《後ろに》 ( cf. **amargi** 《後ろの》 )  
**cala** 《あちらに》 ( cf. **cargi** 《あちらの》 )  
**ebele** 《こちらに》 ( cf. **ebergi** 《こちらの》 )  
**tule** 《外に》 ( > **tulergi** 《外の》 )

/ **dele** 《上》 ( **cf. dergi** 《上の》)  
**fejile** 《下》 ( **cf. fejergi** 《下の》)  
**dolo** 《中》 ( **cf. dorgi** 《中の》)  
**oilo** 《表面》 ( > **oilorgi** 《表面の》)

**Si**: amə<sub>l</sub> 《後で、後に》  
 tul 《外に》  
 fədzil 《下に》

/ dolo 《中に》

**San**: a:mə<sub>l</sub> 《後で、～の後》

/ ɔ:lə 《表面、～の上》

**Ew**: a:mə:lə: 《後ろに、北に》 ( < a:mə:- 《後ろ、北》)

dʒulilə: 《前に、南に》 ( < dʒul- 《前、南》)

tullə:, tulilə: 《外に》 ( < tul- 《外》)

dɔ:lɔ:, dɔ:lə: 《中に》 ( < dɔ:- 《中》)

**Or**: ama<sub>j</sub>lə: 《後ろに》 ( < ama- 《後ろ》)

dɔ:lə: 《中に》 ( < dɔ:- 《中》)

dʒulilə: 《前に》 ( < dʒul- 《前》)

tullə: 《外に》 ( < tul- 《外》)

⑨ **Mo. -ngki** (-HX)

《語幹の性質に類似した意を示す (～のもの、～の部分)》

( **cf. Mo. -ki** (-x) 《関係形容詞・所属名詞形成 (～の、～のもの)》)

**olangki** (олоHX) 《大多数の》 ( < olan (олон) 《多くの》)

**čögenki** (цөөHX) 《少数の》 ( < čögen (цөөн) 《少ない》)

**yekengki** (ихэHX) 《大部分の》 ( < yeke (их) 《大きい》)

/ **Jur. -gi** (形容詞の名詞化か?)

**Ma. -ngge** 《～のもの》 (名詞の属格形、形容詞、動詞の連体形などに接続)

→ **-ngga, -ngge, -nggo** 《～のある、～をもった》

**Si. -niɔ, -jiɔ, -ɔ** 《所属名詞表示 (～のもの)》

→ -ɔ 《名詞語幹の表示する特徴を有した (～のある、～をもった)》

**San. -ɔɔə** 《所属名詞表示 (～のもの)》

→ -ɔɔə, -ɔɔə, -ɔɔɔ 《～のある、～をもった》

**He. -ɔgə, -ɔki** ∞ -lki

**Jur**: ičegi (666) 《新しい》 ( **cf. Ma. icengge** 《新しいもの》 < ice 《新しい》)

**golmigi** (690) 《長い》 ( **cf. Ma. golmin** 《長い》)

**šumigi** (695) 《深い》 ( cf. **Ma. šumin** 《深い》)

**tihaigi** (679) 《従い》 ( cf. **Ma. cihai** 《思い通りに》)

**jaagi** (703) 《易しい》 ( cf. **Ma. ja** 《易しい》)

**Ma : miningge** 《私のもの》 ( < **mini** 《私の》)

**weingge** 《誰のもの》 ( < **we** 《誰》)

**niyalmaingge** 《人のもの》 ( < **niyalma** 《人》)

/ **moringga** 《騎乗の》 ( < **morin** 《馬》)

**gebungge** 《有名な》 ( < **gebu** 《名》)

**doronggo** 《礼儀正しい》 ( < **doro** 《礼儀》)

**Si : tərniŋ** 《彼のもの》 ( < **tər** 《彼》)

**məsjiŋ** 《私たちのもの》 ( < **məs** 《私たち (包括形)》)

**miniŋ** 《私のもの》 ( < **mini** 《私の》)

/ **ilχaŋ** 《模様のある》 ( < **ilχa** 《花》)

**fənixəŋ** 《毛の生えた》 ( < **fənix** 《毛》)

**məriŋ** 《騎乗の》 ( < **mərin** 《馬》)

**ərdəmuŋ** 《技術のある、才能のある》 ( < **ərdəm** 《技量、技術》)

**San : miniŋge** 《私のもの》 ( < **min** 《私の》)

**səniŋge** 《あなたたちのもの》 ( < **sə:n** 《あなたたちの》)

/ **əlyiŋna** 《有名な》 ( < **əlyin** 《名声》)

**vəiliŋge** 《犯人》 ( < **vəile** 《罪》)

**bə:tʂəŋge** 《色のある》 ( < **bə:tʂəŋ** 《色》)

**He : amtəŋge** 《味のある》 ( < **amtən** 《味》)

**iuχaŋki** 《綿の》 ( < **iuχan** 《綿》)

**kudzunŋki** 《力のある》 ( < **kudzun** 《力》)

/ **ilgalki** 《花の》 ( < **ilga** 《花》)

**burigilki** 《濁った》 ( < **buriggi** 《ちり、ほこり》)

⑩ **Mo. -qan, -ken** (-хан<sup>4</sup>)

《一種の指小辞》

**narigan** (нарийхан) 《かなり細い》 ( < **narin** (нарийн) 《細い》)

**qoyarqan** (хоёрхан) 《たった二つの》 ( < **qoyar** (хоёр) 《二》)

**erteken** (эртхэн) 《早めに、やや早く》 ( < **erte** (эрт) 《早く》)

/ **Ma. -kan, -ken, -kon** 《一種の指小辞 (やや～)》

**Si. -qən, -qun, -kən, -kun**

**San. -kan, -kən, -kun** / -хан, -хэн

**Ew. -xan, -xən** 《減抑形式》

**Or.** -ka:n, -kə:n, -kɔ:n, -ko:n 《指小あるいは愛情の意を表示する》

**He.** -qə:n, -qun, -kən, -kun 《比較級》

**Ma:** ambakan 《やや大きい》 ( < amba 《大きい》 )

erdeken 《早めに》 ( < erde 《早く》 )

komsokon 《少なめの》 ( < komso 《少ない》 )

halukan 《暖かい》 ( < halhūn 《暑い》 )

**Si:** maqən 《やや粗い》 ( < ma 《粗い》 )

osχoqun 《やや小さい》 ( < osχon 《小さい》 )

nətcikən 《やや平らな》 ( < nətcin 《平らな》 )

untxukun 《やや空の》 ( < untxun 《空の》 )

**San:** ludokan 《やや多い》 ( < ludu ~ labdo 《多い》 )

ərdəkən 《早めに、やや早く》 ( < ərdə 《早い、早朝》 )

vəiku:kun 《やや軽い》 ( < vəikun 《軽い》 )

/ ambaχan 《やや大きい》 ( < amba: 《大きい》 )

tondo:χon , tondo:kun 《まっすぐな》 ( < tondo 《まっすぐな、正直な》 )

**Ew:** guddaxan 《やや高い》 ( < gudda 《高い》 )

nifuxuxən 《やや小さい》 ( < nifuxun 《小さい》 )

**Or:** fiqarika:n 《黄色くてかわいい》 ( < fiqarin 《黄色の》 )

dəjikə:n 《小鳥》 ( < dəji 《鳥》 )

ɔlɔkɔ:n 《小魚》 ( < ɔlɔ 《魚》 )

owonko:n 《小さな餅》 ( < owon 《餅》 )

**He:** sagdiqən 《やや大きい》 ( < sagdi 《大きい》 )

tondoqun 《ややまっすぐな》 ( < tondo 《まっすぐな》 )

ərdəkən 《やや早い》 ( < ərdə 《早い》 )

sərgukun 《やや涼しい》 ( < sərgun 《涼しい》 )

⑪ **Mo.** -ra, -re (-p)

《場所表示》

doura (доор) 《下に》      dоторa (дотор) 《中に》

degere (дээр) 《上に》      umara (умар) 《北》

/ **Ma.** -ri

deleri 《上に》 ( < dele 《上》 )

dolori 《中に》 ( < dolo 《中》 )

oilori 《表面に》 ( < oilo 《表面》 )

amari 《後ろに》 ( **cf.** amargi 《後ろの》 )

**juleri** 《前に》 ( cf. **julergi** 《前の》)

**fejiri** 《下に》 ( cf. **fejergi** 《下の》)

⑫ **Mo. -si ~ -ysi, -gsi** (-ш, -гш)

《中心から外へ向かう運動の方向性表示》

**uruysi** (урагш) 《前へ》

**dotoysi** (дотогш) 《中へ》

**doyoysi** (доош) 《下へ》

**γadaysi** (гадагш) 《外へ》

**degeysi** (дээш) 《上へ》

**činaysi, časi** (цааш) 《向こうへ》

**qoyisi** (хойш) 《後ろへ、北へ》

**inaysi, nasi** (нааш) 《こちらへ》

**qamiyasi, qayasi, qasi** (хааш) 《どこへ》

/ **Jur. -ši**

**Ma. -si**

**Si. -ci**

**San. -z ∞ -z**

**Ew. -fɪxi, -fixi**

**Or. -fɪki, -fiki**

**Jur: juleši (590)** 《東》

**fuliši (591)** 《西》

**Ma: delesi** 《上へ》 ( < **dele** 《上》)

**dolosi** 《中へ》 ( < **dolo** 《中》)

**casi** 《あちらへ》 ( cf. **cala** 《あちらに》)

**ebsi** 《こちらへ》 ( cf. **ebele** 《こちらに》)

**julesi** 《前へ》 ( cf. **juleri** 《前に》)

**amasi** 《後ろへ》 ( cf. **amari** 《後ろに》)

**tulesi** 《外へ》 ( cf. **tuleri** 《外に》)

**absi** 《どこへ》 ( cf. **aba** < **aiba** 《どこに》)

**Si: amci** 《後ろへ、北へ》

**tylci** 《外へ》

**dæci** 《中へ》

**dzulci** 《前へ、南へ》

**San: a:məz** 《後ろへ》

**dzuli:z** 《前へ》

**tuləiz** 《外へ》

/ **tce:z** 《後ろへ》

- Ew:** ama<sub>fIXI</sub> 《後ろへ》 (< ama- 《後ろ》)  
 dɔ:<sub>fIXI</sub> 《中へ》 (< dɔ:- 《中》)  
 dʒulə<sub>fIXI</sub> 《前へ、南へ》 (< dʒul- 《前、南》)  
 tulə<sub>fIXI</sub> 《外へ》 (< tul- 《外》)
- Or:** ama<sub>fIKI</sub> 《後ろへ》 (< ama- 《後ろ》)  
 dʒulə<sub>fIKI</sub> 《前へ》 (< dʒul- 《前》)  
 tulə<sub>fIKI</sub> 《外へ》 (< tul- 《外》)

⑬ **Mo. -tu, -tü** (-т)

《所属・所有 (～のある、～を持つ) の意を示す》

**qayiratu** (хайрт) 《愛する》 (< **qayira** (хайр) 《愛》)

**neretü** (нэрт) 《有名な》 (< **nerē** (нэр) 《名前》)

/ **Ma. -tu** ∞ **-tun** (非生産的)

**Or. -fi, -fi** 《語幹の示すものや性質をもっている意を表示する》

**Ma: turitu** 《豆で作ったソース》 (< **turi** 《豆》)

**hūlhitu** 《あいまいな人》 (< **hūlhi** 《あいまいな》)

/ **juletun** 《骨董、古物》 (< **julen** 《古詞》)

**Or: mɔ:fI** 《木のある》 (< mɔ: 《木》)

**banifI** 《態度が強硬な》 (< **banin** 《態度》)

**urəfi** 《山のある》 (< urə 《山》)

**ukurfi** 《牛のある》 (< ukur 《牛》)

## 2. 出動名詞接尾辞 (Deverbal nominal suffixes /V→N)

① **Mo. -buri, -büri** (-бар<sup>4</sup> (-бар<sup>4</sup>)) (? < **Ma-Tung. \*-bure** (V→N))

《抽象名詞形成》

**čidaburi** (чидвар) 《能力、才能》 (< **čida-** (чада-) 《できる》)

**tayilburi** (тайлбар) 《説明》 (< **tayil-** (тайл-) 《解く》)

/ **Jur. -bure, -buren** ∞ **-buru** (< **-bu** (V→V) **-re** (V→N))

**cf. -bun** (< **-bu** (V→V) **-n** (V→N))

**Ma. -buru** (< **-bu** (V→V, 使役) **-ru** (< **\*-re**, V→N 未来・連体語尾))

**cf. -bun** (< **-bu** (V→V, 使役) **-n** (V→N))

- Jur** : **usgaburen** (384) 《怨み》 ( cf. **Ma. usha-** 《怨む》)  
**ulhuburen** (733) 《諭告》 ( cf. **Ma. ulhi-** 《悟る、会得する》)  
 / **wesiburu** (427) 《昇格》 ( cf. **Ma. wesi-** 《上がる》)  
**tatiburu** (805) 《学習》 ( cf. **Ma. taci-** 《学ぶ》)  
**Ma** : **jilaburu** 《同情すべき人、あわれむべき者》 ( < **jila-** 《慈しむ》)  
**ubiyaburu** 《憎らしいやつ》 ( < **ubiya-** 《憎む》)  
**hataburu** 《卑しむべき、けがらわしいやつ》 ( < **hata-** 《嫌う、いやがる》)  
 / **ilgabun** 《区別のあるもの》 ( < **ilga-** 《区別する》)  
**ejebun** 《記録》 ( < **eje-** 《記憶する》)

- ② **Mo. -dasu(n), -desü(n)** (-дас<sup>4</sup>)  
 《動作の結果、生じたものを示す》  
**ugiyadasu** (угаадас) 《(洗った後の)汚水》 ( < **ugiya-** (угаа-) 《洗う》)  
**ayidasu** (айдас) 《恐怖》 ( < **ayu-** (ай-) 《恐れる》)

- / ? **Ma. -da, -de**  
**ubiyada** 《憎悪の》 ( < **ubiya-** 《憎む》)  
**eimede** 《嫌な人》 ( < **eime-** 《嫌う》)

- ③ **Mo. -du(n), -dū(n)** (-д)  
 《動作の結果を示す》  
**qaniyadu** (ханиад) 《咳；風邪》 ( < **qaniya-** (ханиа-) 《咳をする》)  
**iniyedu** (инээд) 《笑い》 ( < **iniye-** (инээ-) 《笑う》)

/ **Jur. -čü**

**Ma. -tu** ∞ **-to, -tun** (非生産的)  
 / **-cun** (生産的)

**Si. -tšun** 《語幹に関係ある意を表示する》

**San. -tu, -tu**

/ **-tšun**

**Or. -tu, -to**

**He. -tu**

- Jur** : **giručü** (345) 《恥》 ( cf. **Ma. giru-** 《恥じる》)  
**Ma** : **hūlhatu** 《盜癖のある人》 ( < **hūlha-** 《盗む》)  
**songgotu** 《よく泣く子供》 ( < **songgo-** 《泣く》)  
**girutu** 《羞恥心》 ( < **giru-** 《恥じる》)  
**uhutu** 《巻き物》 ( < **uhu-** 《包む、巻く》)



- giohoto** 《乞食》 ( < **gioha-** 《物乞いして歩く》 )  
**ejetun** 《記録》 ( < **eje-** 《記す》 )  
 / **jobocun** 《苦しみ》 ( < **jobo-** 《苦しむ》 )  
**buyecun** 《愛情》 ( < **buye-** 《愛する》 )  
**Si** : **arətsun** 《希望》 ( < **arə-** 《希望する》 )  
**falitʂun** 《団結》 ( < **fali-** 《団結する》 )  
**basitʂun** 《笑いの種》 ( < **basi-** 《嘲笑する》 )  
**San** : **χolva:tu** 《泥棒》 ( < **χolva-** 《盗む》 )  
**gioktu** 《乞食》 ( < **giok-** 《物乞いをする》 )  
 / **aktʂun** 《悲しみ》 ( < **akə-** 《悲しむ》 )  
**tarvatʂun** 《戒め》 ( < **tarva-** 《戒める》 )  
**Or** : **kulakatʂ** 《盗癖のある》 ( < **kulaka-** 《盗む》 )  
**ʂonotʂ** 《よく泣く》 ( < **ʂon-** 《泣く》 )  
**He** : **χulχatu** 《常習犯の賊》 ( < **χulχa-** 《盗む》 )

④ **Mo. -γ, -g** (-r)

《動作の結果やその状態などを示す》

**jiryu** (зураг) 《絵》 ( < **jiru-** (зура-) 《描く》 )

**bičig** (бичиг) 《文字》 ( < **biči-** (бичи-) 《書く》 )

/ **Ma. -gan** ( < **Mo.** )

**joligan** 《免罪用の金品》 ( < **joli-** 《質受けする》 )

( ← **Mo. jolij** 《あがない金、身受け》 < **joli-** 《あがなう》 )

⑤ (1) **Mo. -γa, -ge / -γan, -gen** (-aa<sup>4</sup> / -aan<sup>4</sup>)

(2) **Mo. -γa, -ge / -γan, -gen** (特に語幹末が **l, r** の後で) (-ra<sup>4</sup>, -raa<sup>4</sup>)  
 ともに《動作の結果、抽象概念、道具などを示す》

(1) **aldaya** (алдаа) 《失敗》 ( < **alda-** (алда-) 《失う》 )

**medege** (мэдээ) 《ニュース》 ( < **mede-** (мэдэ-) 《知る》 )

/ **bayilduyan** (байлдаан) 《戦争》 ( < **bayildu-** (байлда-) 《戦う》 )

**temecegen** (тэмцээн) 《試合》 ( < **temeče-** (тэмцэ-) 《闘う》 )

(2) **tulya** (тулга) 《五徳》 ( < **tul-** (тул-) 《支える》 )

**egürge** (үүрэг) 《義務》 ( < **egür-** (үүр-) 《背負う》 )

/ **sudulya** (судалгаа) 《研究》 ( < **sudul-** (судал-) 《研究する》 )

**töölblege** (төлөвлөгөө) 《計画》 ( < **töölble-** (төлөвлө-) 《計画する》 )

/ **Jur. -gan**

**Ma. -han<sup>3</sup>, -gan<sup>3</sup>** (生産的) ∞ **-hiyan<sup>3</sup>**  
**-ha<sup>3</sup>, -ga<sup>3</sup>** (非生産的)

**Si.** -χ an, -gɔn 《動作に関連する事物を表示する》

**San.** -kən, -ɜan

**Ew.** -gan, -gɔn

**Or.** -gan, -gən, -gɔn 《語幹の表す動作と関係ある事物を表示する》

**Jur : hušigan** (552) 《スカート》 ( cf. **Ma. hūsi-** 《包む、巻く》)

**karagan** (469) 《偵察》 ( cf. **Ma. kara-** 《見渡す》)

**Ma : hadahan** 《釘》 ( < **hada-** 《釘を打つ》)

**boljohon** 《約束》 ( < **boljo-** 《約束する》)

**juktehen** 《廟、寺》 ( < **jukte-** 《神を祀る》)

/ **jasigan** 《手紙》 ( < **jasi-** 《便りをする》)

**nirugan** 《絵》 ( < **niru-** 《描く》)

**bodogon** 《計略》 ( < **bodo-** 《考える》)

/ **tacihivan** 《教え、教訓》 ( < **taci-** 《学ぶ》)

/ **aciha** 《荷物》 ( < **aci-** 《荷を積む》)

**Si : dzaci χ an** 《手紙》 ( < **dzaci-** 《手紙を出す》)

**yr χ an** 《絵》 ( < **yr-** 《描く》)

**miami χ an** 《首飾り、装飾品》 ( < **miami-** 《化粧をする、身を飾る》)

**bodogon** 《策略》 ( < **bodo-** 《考える》)

**San : ja:bkən** 《歩行、徒歩》 ( < **ja:bə-** 《行く、歩く》)

**madɜan** 《利息》 ( < **mada-** 《膨れる》)

**Ew : taragan** 《田畑》 ( < **tarɪ-** 《植える》)

**bɔdɔgɔn** 《策略、方法》 ( < **bɔdɔ-** 《考える》)

**Or : madagan** 《利息》 ( < **mada-** 《膨れる》)

**njurəgən** 《絵》 ( < **njurə-** 《描く》)

**bɔdɔgɔn** 《策略》 ( < **bɔdɔ-** 《考える》)

⑥ **Mo. -γčī, -gčī / -γačī, -gečī** (-γч / -аач‘)

《動作の行為者 (～するもの) を示す》

**ungsiγčī** (уншиγч) 《読者》 ( < **ungsi-** (унши-) 《読む》)

**körögečī** (хөргөгч) 《冷蔵庫》 ( < **köröge-** (хөргө-) 《冷やす》)

/ **jiruγačī** (зураач) 《画家》 ( < **jiru-** (зура-) 《描く》)

**bičigečī** (бичээч) 《書記》 ( < **biči-** (бичи-) 《書く》)

/ **Ma. -si, -ci** ∞ **-nju**

**Si. -ci** 《行為者》

**San. -ndzu**

**Or. -fɪn, -fɪn**

**He. -χ tɕi** ( < **Mo.** )

**Ma: ucułesi** 《歌手》 ( < **ucule-** 《歌う》 )

**šuruɕi** 《船頭》 ( < **šuru-** 《船をやる》 )

/ **ukanju** 《逃亡者》 ( < **uka-** 《逃げる》 )

**Si: avəlɕi** 《狩人》 ( < **avələ-** 《狩りをする》 )

**arɕi** 《作家》 ( < **arə-** 《書く》 )

**tatɕiɕi** 《学生》 ( < **tatɕi-** 《学ぶ》 )

**San: uχ andzu** 《逃亡人》 ( < **uχ a-** 《逃げる》 )

**Or: mɔ:la:fɪn** 《きこり》 ( < **mɔ:la-** 《木を切る》 )

**bəjuɕɪn** 《狩人》 ( < **bəju-** 《狩りをする》 )

**He: uɕin tari χ tɕi** 《農民》 ( < **uɕin** 《田》, **tari-** 《植える》 )

**imaχ a buta χ tɕi** 《漁師》 ( < **imaχ a** 《魚》, **buta-** 《捕える》 )

⑦ **Mo. -γu, -gü / -γun, -gün** (  $-yy^2 / -yyH^2$  )

《動作の結果生じた状態を示す》

**soytoyu** (соггүү) 《酔った》 ( < **soyto-** (согто-) 《酔う》 )

**tengčegüü** (тэнцүү) 《等しい》 ( < **tengče-** (тэнцэ-) 《等しくなる》 )

/ **qalayun** (халуун) 《熱い、暑い》 ( < **qala-** (хала-) 《熱くなる》 )

**serigün** (сэрүүн) 《涼しい》 ( < **seri-** (сэрэ-) 《目覚める》 )

/ **Jur. -gun** 《名詞語幹形成辞》

**Ma. -hûn, -hun / -kû, -ku**

**Si. -χ un, -xun**

**San. -γ un**

**He. -χ un**

**Jur: halgun** (92) 《熱い》

**sergun** (93) 《涼しい》

**dulgun** (94) 《温かい》

**jobogun** (844) 《困難》 ( cf. **Ma. jobo-** 《苦しむ》 )

**kadagun** (409) 《誠実》 ( < **kada-** (777) 《信ずる》 )

- Ma** : **halhûn** 《暑い》 ( < hala- 《火傷する》 )  
**yadahûn** 《貧しい》 ( < yada- 《貧する》 )  
**wasihûn** 《下、西》 ( < wasi- 《下りる》 )  
**wesihun** 《上、東》 ( < wesi- 《上る》 )  
**ekiyehun** 《欠けた、不足した》 ( < ekiye- 《欠ける、不足する》 )  
**serehun** 《半眠半覚の》  
/ **soktokû** 《酒飲み》 ( < sokto- 《酔う》 )  
**iseku** 《恐れる人》 ( < ise- 《恐れる》 )  
**Si** :  $\chi$  al  $\chi$  un 《熱い》 ( <  $\chi$  alə- 《熱くなる、火傷する》 )  
jadə  $\chi$  un 《貧困な》 ( < jadə- 《窮する》 )  
vəndzixun 《にぎやかな》 ( < vəndzi- 《熱を出す、熱くなる》 )  
**San** : vəş  $\gamma$  un 《高貴な》 ( < və:zə- 《上る》 )  
**He** :  $\chi$  afir  $\chi$  un 《困難な》 ( <  $\chi$  afirə- 《迫る》 )

⑧ **Mo. - $\gamma$ ur, -gür** (- $\gamma$ ur<sup>2</sup>)

《道具名称形成》

- qadu $\gamma$ ur** (хадүүр) 《鎌》 ( < qadu- (хада-) 《(草を)刈る》 )  
**elgügür** (өлгүүр) 《洋服かけ》 ( < elgü- (өлгө-) 《掛ける》 )

/ **Jur. -ku, -gu** / **-hun**

**Ma. -kû, -ku** (生産的) / **-fun** (非生産的) 《道具・器具表示 (～するもの)》

**Si. -qu, -ku** 《基本的に道具名称を、一部、場所・人を表示する》

**San. -ku** ( $\infty$  -nku), -kə / - $\chi$ u, - $\gamma$ u

**Ew. -ur, -ur, -r** ( < Mo. ) / -u:n 《道具表示 (～するのに用いる道具)》

**Or. -r** ( < Mo. ) / -won, -wun 《物・道具名称表示》

cf. -wu, -wu (N→N, 機能的拡張) 《関連した意を表示》

**He. -qu, -ku** / **-fun**

- Jur** : **tireku** (550) 《枕》 ( cf. Ma. ciru- 《枕にする》 )  
**fushegu** (221) 《扇》 ( cf. Ma. fushe- 《あおぐ》 )  
**irdihun** (549) 《くし》 ( cf. Ma. iji-, Ew. ıddı-, Or. ıgdı- 《髪をとかす》 )  
**Ma** : **sacikû** 《のみ》 ( < saci- 《切る》 )  
**anakû** 《鍵》 ( < ana- 《押す》 )  
**debsiku** 《うちわ》 ( < debsi- 《あおぐ》 )  
**etuku** 《服》 ( < etu- 《着る》 )  
/ **hadufun** 《鎌》 ( < hadu- 《刈る》 )  
**sektefun** 《座布団》 ( < sekte- 《敷く》 )

- ijifun** 《くし》 ( <iji- 《髪をとかす》 )
- Si:** forqu 《紡ぎ車》 ( <foru- 《糸を紡ぐ》 )  
 tatciqu 《学校》 ( <tatci- 《学ぶ》 )  
 bəltʂaqu 《怠け者》 ( <bəltʂa- 《怠ける》 )  
 vəlmiku 《釣り竿》 ( <vəلمي- 《魚を釣る》 )  
 ɛitərku 《詐欺師》 ( <ɛitərə- 《だます》 )
- San:** anəku 《鍵》 ( <a:nə- 《押す》 )  
 u:tku 《衣服》 ( <u:tu- 《着る》 )  
 sudza:nku 《つつかえ棒、支え》 ( <sudza:- 《支える》 )  
 di:tʂkə 《たきぎ》 ( <didzi- 《燃やす》 )  
 kəntʂkə 《フォーク》 ( <kəntʂə- 《臼でつく》 )  
 / sa:tʂa χu 《すき》 ( <sa:tʂə- 《たたき切る》 )  
 χ adau γ u 《鎌》 ( <χ adə- 《刈る》 )
- Ew:** maltuɾ 《熊手》 ( <malta- 《掘りおこす》 )  
 buduɾ 《染料》 ( <budu- 《染める》 )  
 / xadu:n 《鎌》 ( <xadi- 《刈る》 )  
 iddu:n 《くし》 ( <iddi- 《髪をとかす》 )
- Or:** əfuɾ 《ほうき》 ( <əfu- 《掃く》 )  
 təwəɾ 《銃弾》 ( <təw- 《詰める》 )  
 buduɾ 《染料》 ( <budu- 《染める》 )  
 / kadɪwun 《鎌》 ( <kadi- 《刈る》 )  
 igdiwun 《くし》 ( <igdi- 《髪をとかす》 )  
 ufiwun 《巻きつけるもの》 ( <ufi- 《巻きつける》 )  
 tukiwun 《はしご》 ( <tukti- 《のぼる》 )
- cf.** oktoɾu 《人が歩いてできた道》 ( <okto 《道》 )  
 tərgəwɪ 《車が圧してできた道》 ( <tərgən 《車》 )
- He:** satəqu 《すき》 ( <satci- 《すきで耕す》 )  
 so χ tqɪ 《酔っぱらい》 ( <so χ to- 《酔う》 )  
 əriku 《ほうき》 ( <əri- 《掃く》 )  
 xudzyrku 《ひき臼》 ( <xudzyr- 《粉をひく》 )  
 / χ adifun 《鎌》 ( <χ adi- 《刈る》 )
- ⑨ **Mo. -lang, -leng** (—лан⁴)  
 《動作の感情、場所などを示す》  
**jobalang** (ЗОВЛОН) 《苦しみ》 ( <joba- (ЗОВО-) 《苦しむ》 )  
**küseleng** (ХҮСЛЭН) 《希望》 ( <küse- (ХҮСЭ-) 《望む》 )

/ **Ma. -lon**

**Si. -lun**

**San. -lun**

? **Or. -lan, -lən, -lon** 《よく～する、～したがる》

**Ma: jobolon** 《災難、災い》 (< jobo- 《苦しむ》)

**Si: dzovulun** 《災難、災い》 (< dzovu- 《苦勞する》)

**San: dzobulun** 《災難》 (< dzobo- 《疲れる》)

**Or: d3a:nda:lan** 《よく歌う、歌いたがる》 (< d3a:nda:- 《歌う》)

əwilən 《よく遊ぶ、遊びたがる》 (< əwi- 《遊ぶ》)

ʃoŋoɔn 《よく泣く、泣きたがる》 (< ʃoŋo- 《泣く》)

<考察>

**Or.**の接尾辞-lan<sup>3</sup>は、**Mo.**や他の **Ma.**、**Si.**、**San.**などとは表示する意味が若干異なるため、これらとは全く別起源である可能性も否定できない。

⑩ **Mo. -lyə, -lge /-lyan, -lgen** (-лгə<sup>4</sup>)

《動作の結果、抽象概念、道具などを示す》

**qayalyə** (хаалгə) 《扉、ドア》 (< qayə- (хаə-) 《閉める》)

**emnelge** (эмнэлгə) 《病院》 (< emne- (эмнə-) 《治療する》)

/ **Ma. —**

**Or. -lga, -lgə** (< **Mo.** ) 《動作と関係ある物事を表示する》

**Or: d3a:nda:lga** 《歌》 (< d3a:nda:- 《歌う》)

wa:lga 《殺す方法》 (< wa:- 《殺す》)

ədəlɔgə 《渡し場》 (< ədəl- 《渡る》)

dəlkiɔgə 《割る方法》 (< dəlki- 《たたき割る》)

⑪ **Mo. -li** (-ль, -л)

《動作の結果生ずるものや、それに使われるものを示す》

**sayali** (сааль) 《乳、搾乳》 (< sayə- (саə-) 《搾乳する》)

**sačuli** (цацул) 《乳を大地に捧げるためにまく木の道具》

( < saču- (цаца-) 《ふりまく》)

/ **Ma. -li**

**buceli** 《幽魂》 (< buce- 《死ぬ》)

⑫ **Mo. -lta, -lte** (-лт)

《行為の過程や結果、その行為に用いられるものなどを示す》

**asaγulta** (acyyлт) 《質問》( < **asaγu-** (acyy-) 《尋ねる》)

**kögjilte** (xөгжилт) 《発展》( < **kögji-** (xөгжи-) 《発展する》)

/ **Ma. —**

**Si: -rtan** ( < **Mo.** ) 《業務を表示する》

---

**Si: vailertan** 《工業》( < **vaila-** 《働く》)

**ul x a udzirtan** 《牧畜業》( < **ul x a** 《家畜》, **udzi-** 《養う、育てる》)

機能的拡張により、若干の名詞にも接続される。

**ucirtan** 《農業》( < **ucin** 《田》)

⑬ **Mo. -m** (-м)

《動作の結果生ずるものや、それに使われるものを示す》

**alqum** (алхам) 《一步》( < **alqu-** (алха-) 《歩く》)

**kögjim** (xөгжим) 《音楽、楽器》( < **kögji-** (xөгжи-) 《楽しむ》)

/ **Ma. -ma, -me, -mu**

**gocima** 《引き出し》( < **goci-** 《引く》)

**tohoma** 《馬の傍垂》( < **toho-** 《馬につなぐ》)

**ulme** 《裁縫》( < **ule-** 《まっすぐに縫う》)

**oromu** 《牛乳に張る皮》( < **oro-** 《表面に皮が張る》)

⑭ **Mo. -ma, -me** (-м)

《動詞の連体語尾の一種、可能性表示(～すべき、～に値する、～するほどの)》

**γayiqama** (гайхам) 《驚くべきほどの》( < **γayiq-** (гайха-) 《驚く》)

**örö ebedüme** (өрөвдөм) 《同情すべき》( < **örö ebed-** (өрөвдө-) 《同情する》)

/ **Ma. -ba, -be**

**Or. -ma, -mə, -mo** 《よく～する》

---

**Ma: olhoba** 《謹慎な》( < **olho-** 《畏れる》)

**kiriba** 《我慢強い》( < **kiri-** 《我慢する》)

**kicebe** 《勤勉な》( < **kice-** 《努める》)

**Or: a:ʃinma** 《よく眠る》( < **a:ʃin-** 《眠る》)

**gərbəmə** 《よく働く》( < **gərbə-** 《働く》)

**ʃoɣomə** 《よく泣く》( < **ʃoɣo-** 《泣く》)

⑮ **Mo. -mal, -mel** (-мал<sup>4</sup>)

《動作の結果生じた状態やもの (～されたところの; ～されたもの) を示す》

**songyomal** (СОНГОМӨЛ) 《選ばれた》 (< **songyo-** (сонго-) 《選ぶ》)

**kimel** (ХИЙМЭЛ) 《人工の》 (< **ki-** (хий-) 《作る》)

/ **Ma. ----**

**Ew. -mal, -mel** (< **Mo.**) 《動作と関係ある意を表示する》

**Or. -mal, -mel** (< **Mo.**) 《動作が実現した後で生ずる性質を表示する》

**Ew: tujgandamal** 《かんなをかけた》 (< **tujganda-** 《かんなをかける》)

**tiremäl** 《压した》 (< **tirä-** 《压する》)

**Or: tujgandamal** 《かんなをかけた》 (< **tujganda-** 《かんなをかける》)

**iptä:mäl** 《磨いた》 (< **iptä:-** 《磨く》)

⑯ **Mo. (1)-n / (2)-γan<sup>2</sup> (~-yan<sup>2</sup>) / (3)-l**

(1) 《動作の結果生じた性質や場所、期間などを示す》

(2) 《動作の結果、抽象概念、道具などを示す》

(3) 《動作の抽象概念などを示す (動詞の名詞化)》

(1) **orčün** (орчин) 《周囲、周り》 (< **orči-** (орчи-) 《回転する》)

**singgen** (шингэн) 《液体の、薄い》 (< **singge-** (шингэ-) 《しみ込む》)

(2) **bayilduyan** (байлдаан) 《戦争》 (< **bayildu-** (байлда-) 《戦う》)

**temečegen** (тэмцээн) 《試合》 (< **temeče-** (тэмцэ-) 《闘う》)

(3) **üjeł** (үзэл) 《見解》 (< **üje-** (үзэ-) 《見る》)

**jokiyal** (зохиол) 《作品》 (< **jokiya-** (зохио-) 《創作する》)

/ **Jur. -n**

**Ma. -n** (V→N suffix のうちで、最も基本的で生産的なものである)

**Si. -n** 《動作の結果、物事、抽象概念などを示す》

**Ew. -n**

**San. -n** 《対応する名詞を構成する》

**Jur: tolgin** (356) 《夢》 (cf. **Ma. tołgi-** 《夢を見る》)

**Ma: (1)** 満洲固有語に見られる例

**akjan** 《雷》 (< **akja-** 《雷が鳴る》)

**bisan** 《洪水》 (< **bisa-** 《水があふれる》)

**algin** 《名声》 (< **algi-** 《有名になる》)

(2) 蒙古語からの借用語に見られる例

**holbon** 《対、縁組》 (< **holbo-** 《結びつける》)



( ← **Mo. qolboya(n)** 《結合；関係》 < **qolbo-** 《結びつける》)

**jabšan** 《幸福》 ( < **jabša-** 《幸福を得る》)

( ← **Mo. ǰabsiyan** 《幸運；チャンス》 < **ǰabsi-** 《機会をとらえる》)

**karan** 《展望》 ( < **kara-** 《見渡す、展望する》)

( ← **Mo. qarayan** 《展望所》 < **qara-** 《見る》)

(3) **Mo.** で **-l** (**V→N suffix**) 終わりの語が、**Ma.** で **-n** (**V→N suffix**) 終わりの語と対応するものが数多く見られる (cf. **Mo. -ldu-** (**V→V**): **Ma. -ndu-**)。これは、**Ma.** では音節末子音の制限により、語末に立つことのできる子音は原則として **n** のみであり、**Mo.** から **Ma.** に借用する際に、自らの音節構造に適合させた結果であろう。

**bodon** 《策略、計画》 ( < **bodo-** 《考える》)

( ← **Mo. bodoǰ** 《考え、見解》 < **bodo-** 《考える》)

**jurcen** 《違背、違反》 ( < **jurce-** 《背く、違背する》)

( ← **Mo. ǰöričel** 《矛盾》 < **ǰöriče-** 《背く、矛盾する》)

**kicen** 《努力》 ( < **kice-** 《努力する》)

( ← **Mo. kičiyel** 《努力；授業》 < **kičiye-** 《努力する》)

**temšen** 《争い》 ( < **temše-** 《争う》)

( ← **Mo. temečel** 《争い、鬭争》 < **temeče-** 《争う、鬭う》)

**Si:** **isan** 《会議》 ( < **isa-** 《集まる》)

**imtcin** 《継ぎ》 ( < **imtcī-** 《縫い繕う》)

**χ adən** 《釘》 ( < **χ adə-** 《釘を打つ》)

**bətan** 《魚の餌》 ( < **bəta-** 《つりをする》)

**əəlin** 《価値》 ( < **əəli-** 《値する》)

**qarmən** 《保護》 ( < **qarmə-** 《保護する》)

**San:** **a:vən** 《戦争》 ( < **a:və-** 《戦争する》)

**da:zan** 《政治》 ( < **da:zə-** 《治す、治療する、改める》)

**kitšən** 《勉強》 ( < **kitšə-** 《努める》)

**tatcin** 《風俗、習慣》 ( < **tatci-** 《学ぶ》)

**ja:bən** 《行い、行為》 ( < **ja:bə-** 《行く、歩く》)

**Ew:** **gə:lan** 《部屋》 ( < **gə:la-** 《隔てる、仕切る》)

**tətəgən** 《制限》 ( < **tətəgə-** 《決定する》)

⑰ **Mo. -nggi / -ngqai, -ngkei / -ngyui, -nggüi** ( **-нги<sup>3</sup> / -нхай<sup>3</sup> / -нгуй<sup>2</sup>** )

《動作の結果生じた状態を示す》

**salunggi** ( **саланги** ) 《分かれた、別々の》 ( < **sal-** ( **сал-** ) 《別れる》)

**sönggi** ( **сөөнгө** ) 《声のかすれた》 ( < **söge-** ( **сөө-** ) 《声がかすれる》)

/ **turangqai** ( **туранхай** ) 《やせた》 ( < **tura-** ( **тура-** ) 《やせる》)

/ **tüleŋkei** (түлэнхий) 《焼けた》 (< **tüle-** (түлэ-) 《燃やす》)  
**quriyangvui** (хураангуй) 《要約した、簡潔な》 (< **quriya-** (хураа-) 《集める》)  
**kičiyenggüi** (хичээнгүй) 《勤勉な、熱心な》 (< **kičiyе-** (хичээ-) 《努力する》)

/ **Ma. -nggi, -ngga, -ngge**

**Si. -ŋ** 《語幹の表示する特徴をもった》  
**Ew. -ŋxi, -ŋxi** 《動作を行う道具や物を表示する》  
**Or. -ŋki, -ŋki** 《語幹の表す動作と関係ある物を表示する》

**Ma. : etenggi** 《強い》 (< **ete-** 《強い》)  
**falingga** 《結んだ》 (< **fali-** 《結ぶ》)  
**saišangga** 《賞賛した》 (< **saiša-** 《賞賛する》)  
**Si. : bardəŋ** 《自慢した》 (< **bardə-** 《自慢する》)  
**daldəŋ** 《遮った》 (< **daldə-** 《遮る》)  
**Ew. : səxəŋxi** 《ひしやく》 (< **səxə-** 《すくう》)  
**ilaŋxi** 《燃料》 (< **ila-** 《燃やす》)  
**Or. : lökəŋki** 《物を掛けるもの》 (< **lökö-** 《掛ける》)  
**naŋila:ŋki** 《もたれるもの》 (< **naŋila:-** 《寄りかかる》)  
**mu:lə:ŋki** 《水桶》 (< **mu:lə:-** 《水をくむ》)  
**təgəŋki** 《座れるもの》 (< **təgə-** 《座る》)

<考察>

**Ew.**、**Or.**の諸形式は、《～するところのもの》が原義で、\***-ngki** (V→N) に遡り、**Ma.**、**Si.**とは別起源である可能性もある。

⑮ **Mo. -ri** (-рь)

《動作の行なわれる場所や動作の結果を示す》

**qubiyari** (хуваарь) 《分配、区分》 (< **qubiya-** (хуваа-) 《分ける》)  
**sayuri** (суурь) 《基礎、土台》 (< **sayu-** (суу-) 《座る》)

/ **Ma. -ri** (非生産的)

**bukdari** 《天子に上奏する折りたたんだ書類、上奏文》 (< **bukda-** 《折りたたむ》)

⑯ **Mo. -su(n), -sü(n)** (-с)

《動作の結果生じたものを示す》

**nilbusu** (нулимс) 《涙》 (< **nilbu-** (нулима-) 《つばを吐く》)  
**kögesü** (хөөс) 《泡》 (< **kögege-** (хөө-) 《ふくらむ》)

/ **Jur. -sun**

**Ma. -su, -sun**

**Si. -su** ∞ -rsu 《抽象名詞形成》

**Ew. -sun, -sun**

**Jur. dondisun** (351) 《聞くこと》 ( cf. **Ma. donji-** 《聞く》 )

**tuwanhiyasun** (826) 《監視》 ( cf. **Ma. tuwakiya-** 《監視する、見張る》 )

**Ma: ulhisu** 《早わかりの》 ( < **ulhi-** 《悟る》 )

**gelesu** 《小心者》 ( < **gele-** 《恐れる》 )

**onggosu** 《忘れっぽい(人)》 ( < **onggo-** 《忘れる》 )

/ **hûwaliyasun** 《穏和な》 ( < **hûwaliya-** 《和合する》 )

**Si: ədzəsu** 《記憶力》 ( < **ədzi-** 《記憶する》 )

**taqasu** 《認識》 ( < **taqa-** 《認める》 )

/ **mutursu** 《植物学》 ( < **mutu-** 《育つ》 )

**tutçirsu** 《産物》 ( < \***tuci-** > **titçi-** 《出る》 )

**Ew: ʃinasun** 《くさび》 ( < **ʃina-** 《打ち込む》 )

**tixxəsun** 《釘》 ( < **tixxə-** 《釘を打つ》 )

### 3. 出名動詞接尾辞 (Denominal verbal suffixes / N→V)

① **Mo. -da-, -de-** (-да<sup>4</sup>-)

《 a. 手段動詞形成 (～を用いて動作を行なう)、b. 度を越していることを表示 (～すぎる)》

**utasuda-** (уҗасда-) 《電話をかける》 ( < **utasu** (уҗас) 《糸; 電話》 )

**kirögede-** (хөрөөдө-) 《鋸でひく》 ( < **kiröge** (хөрөө) 《鋸》 )

/ **bayada-** (багада-) 《小さすぎる、少なすぎる》 ( < **baya** (бага) 《小さい、少量の》 )

**tomoda-** (томдо-) 《大きすぎる》 ( < **tomo** (том) 《大きい》 )

/ **Jur. -da-**

**Ma. (1)** 形態的対応 **-da-, -de-, -do-**

**(2)** 意味的対応 **-la-, -le-, -lo-**

**Si. -də-, -du-** 《手段動詞、他動詞などを形成する》

**San. -da: -, -də-**

**Ew. -da-, -də-, -do-** 《 a. その物を道具となす動作を表示する、  
b. その性質と関係ある状態や態度を表示する》

**Or. -da-, -də-** 《語幹が指す物を道具となす動作を表示する》

**Jur**: *sahada-* (481) 《狩りをする》 ( *cf. Ma. saha* 《狩り》 )

**Ma**:(1) *jilida-* 《怒る》 ( < *jili* 《怒り》 )

*heolede-* 《怠る》 ( < *heolen* 《怠慢な》 )

*yobodo-* 《冗談を言う》 ( < *yobo* 《冗談》 )

(2) *sabkala-* 《はしでつかむ》 ( < *sabka* 《はし》 ) ( *cf. Mo. sabqada-* 《id》 < *sabqa* 《id》 )

*behele-* 《墨をぬる》 ( < *behe* 《墨》 ) ( *cf. Mo. bekede-* 《id》 < *beke* 《id》 )

*šusile-* 《のみでうがつ》 ( < *šusin* 《のみ》 ) ( *cf. Mo. čüčede-* 《id》 < *čüče* 《id》 )

*goholo-* 《鉤で引っかける》 ( < *gohon* 《鉤》 ) ( *cf. Mo. ɣoqada-* 《id》 < *ɣoqa* 《id》 )

<考察>

特に手段動詞形成の場合、**Mo.**では、主に  $-da^2-$  (一部  $-la^2-$ ) が用いられるのに対し、**Ma.**では、逆に  $-la^3-$  (一部  $-da^3-$ ) が用いられるため、結果的に **Mo.**  $-da^2-$  は、形態的には **Ma.**  $-da^3-$  と対応するものの、意味的には、むしろ **Ma.**  $-la^3-$  と対応するものが数多く見られ、両者の対応にずれがあることに注意されたい。

**Si**: *samde-* 《シャーマンの踊りをする》 ( < *samən* 《シャーマン》 )

*burudu-* 《ほら貝を吹く》 ( < *burun* 《ほら貝》 )

*urudu-* 《錐で穴を開ける》 ( < *urun* 《錐》 )

*ontšudu-* 《寛大にする》 ( < *ontšu* 《寛大な》 )

**San**: *dzilda-* 《怒る》 ( < *dzi:l* 《怒り》 )

*dzuardə-* 《馬が跑足で駆ける》 ( < *dzuarən* 《馬の跑足》 )

*largedə-* 《煩わしくなる》 ( < *largen* 《煩雑な》 )

**Ew**: *oxxoda-* 《縄で縛る》 ( < *oxxon* 《縄》 )

*əru:də-* 《シャベルで掘る》 ( < *əru:n* 《鉄のシャベル》 )

/ *bara:nda-* 《多すぎる》 ( < *bara:n* 《多い》 )

*ənixxundə-* 《軽視する》 ( < *ənixxon* 《軽い》 )

**Or**: *dšawıda-* 《船をこぐ》 ( < *dšawı* 《船》 )

*ʃınada-* 《くさびを打ち込む》 ( < *ʃına* 《くさび》 )

*ʃupkudə-* 《すき櫛ですく》 ( < *ʃupku* 《すき櫛》 )

*ʃukədə-* 《斧でたたき切る》 ( < *ʃukə* 《斧》 )

② **Mo. -ji-** (-жи-)

《継続増大動詞形成 (～が増す)》

*baɣajı-* (баяжи-) 《富む、豊かになる》 ( < *baɣan* (баян) 《富、金持ち》 )

*čilayujı-* (чулуужи-) 《化石化する》 ( < *čilayı* (чулуу) 《石》 )

/ **Jur. -je-**

**Ma. -ja-, -je-, -jo-** (非生産的)

**Si. -dzi-** 《語幹の意と関係ある動作を表示する》

San. -dzi-, -dzə-

Jur: **urgunje-** (372) 《喜ぶ》 (cf. Ma. **urgun** 《喜び》)

Ma: **katunja-** 《我慢する》 (< **katun** 《強堅》)

**urgunje-** 《喜ぶ》 (< **urgun** 《喜び》)

**fondojo-** 《穴があく》 (< **fondo** 《貫通した》)

Si: **gonindzi-** 《気にかける》 (< **gonin** 《気持ち》)

**urxundzi-** 《喜ぶ》 (< **urxun** 《喜び》)

**faχsədzj-** 《裂ける、破れる》 (< **faχs** 《怒り狂った》)

San: **urγundzi-**, **urγundzə-** 《喜ぶ》 (< **urγun** 《喜び》)

③ **Mo. -la-, -le-** (-ла'-)

《主に a. 他動詞形成 (～を用いて動作を行なう、～の状態にする)、  
一部 b. 自動詞形成 (～が生ずる、～の状態になる)》

**toγala-** (тоо<sub>ло</sub>-) 《数える》 (< **toγa** (тоо) 《数》)

**keregle-** (хэрэглэ-) 《使う、用いる》 (< **kereg** (хэрэг) 《必要、用事》)

/ **taryula-** (таргала-) 《太る》 (< **taryun** (тарган) 《太った》)

**čecēgle-** (цэцэг<sub>лэ</sub>-) 《花が咲く》 (< **čecēg** (цэцэг) 《花》)

/ Jur. -la-, -le-

Ma. (1) 形態的対応 -la-, -le-, -lo-

(2) 意味的対応 -da-, -de-, -do- (若干あり)

Si. -lə-, -lu-

《a. 手段動詞 (～を用いて行う)、b. 対象動詞 (～をする)、c. 自動詞 (～になる)》

San. -l-, -la- (-la:-), -lə-, -lu- (-lu:-), -lo-

Ew. -la-, -lə- 《その物を対象とする動作を表示する》

Or. -la:-, -lə:- 《語幹が指す物を道具あるいは対象とする動作を表示する》

He. -la-, -lə-, -lo-, -lu-

Jur: **uγula-** (334) 《頭となる》 (< **uγu** (492) 《頭》)

**ančunla-** (564) 《金で織る》 (< **ančun** (568) 《金》)

**jaula-** (271) 《奏する》 (< Ch. 奏 (jau))

**nekuḷe-** (800) 《友人になる》 (< **nekur** (329) 《友人》)

Ma: N→V suffix のうちで、最も生産的なものである。

(1) **hūdula-** 《急ぐ》 (< **hūdun** 《早い(く)》)

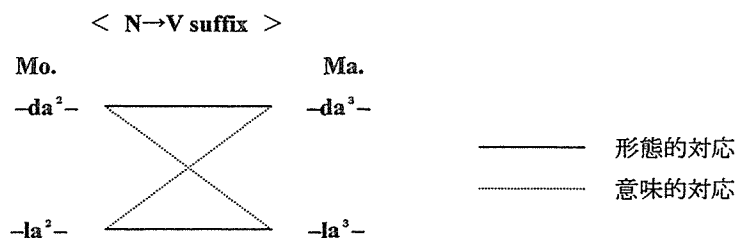
**sarila-** 《宴会を開く》 (< **sarin** 《酒宴》)

**ucule-** 《歌う》 (< **ucun** 《歌》)

- sebjele-** 《楽しむ》 ( < sebjen 《楽しみ》 )  
**oktolo-** 《薬を用いる》 ( < okto 《薬》 )  
**hontoholo-** 《半分にする》 ( < hontoho 《半分》 )  
**(2) narhûda-** 《けちけちする》 ( < narhûn 《細かい》 )  
 ( cf. Mo. **narila-** 《id.》 < **narin** 《id.》 )  
**jorda-** 《跑足で駆ける》 ( < joran 《跑足》 )  
 ( cf. Mo. **jiroyala-** 《id.》 < **jiroya** 《id.》 )  
**balamada-** 《狂暴に振舞う》 ( < balama 《狂暴な》 )  
 ( cf. Mo. **balamadla-** 《id.》 < **balamad** 《id.》 )

< 考察 >

Mo. **-la<sup>2</sup>-**は、形態的には Ma. **-la<sup>3</sup>-**と対応するものの、意味的には (2)のように Ma. **-da<sup>3</sup>-**と対応するものも若干見られ、両者の対応にずれがあるのは興味深いことである。これは、① Mo. **-da<sup>2</sup>-**, **-de-** (N→V) の場合とほぼ同じであり、これらの対応関係をまとめて図示すると、概略次のようになる。



- Si:** **kuçilə-** 《小刀で突き刺す》 ( < kuçi 《小刀》 )  
**mukulü-** 《水をやる》 ( < muku 《水》 )  
 / **gəvələ-** 《名前をつける》 ( < gəv 《名前》 )  
**bani χ alə-** 《感謝する》 ( < bani χ a 《感謝》 )  
 / **bor χ ulü-** 《堆積する》 ( < bor χ un 《堆積》 )  
**tšo χ tulü-** 《驕る》 ( < tšo χ tu 《傲慢な》 )  
**San:** **a:və|-** 《狩りをする》 ( < a:v 《狩り》 )  
**vəş γ ul-** 《尊敬する》 ( < vəş γ un 《高貴な》 )  
**ba:niv|a-** 《感謝する》 ( < ba:nivə 《感謝》 )  
**dantçilə-** 《嫁が里帰りする》 ( < dantçen 《嫁の実家》 )  
**χ askələ-** 《はさみで切る》 ( < χ a:skə 《はさみ》 )  
**a:dulü-** 《放牧する》 ( < a:dun 《家畜の群れ》 )  
**urlu:-** 《刑を用いる》 ( < u:run 《刑》 )  
**fudaşvələ-** 《発狂する》 ( < fuda:şvən 《気違い》 )

**Ew** : aggala- 《方法を考える》 ( < agga 《方法》 )

urulə- 《芽が出る》 ( < uru 《芽》 )

**Or** : kajfi<sub>1</sub>la- 《はさみで切る》 ( < kajfi 《はさみ》 )

batala- 《敵対する》 ( < bata 《敵》 )

mu:lə- 《水をくむ》 ( < mu: 《水》 )

iqəktələ- 《すももをとる》 ( < iqəkte 《すもも》 )

**He** : χ adzəla- 《はさみで切る》 ( < χ adzə 《はさみ》 )

tuxsulə- 《曇る》 ( < tuxsu 《雲》 )

oχ tolo- 《毒を入れる》 ( < oχ to 《薬》 )

jodzulu- 《錠をかける》 ( < jodzu 《錠》 )

④ **Mo. -lda-, -ldü-** (-лда‘-)

《相対動詞形成 (あるものに対して何らかの動作を行う)》

toqoyilda- (тохойилдо-) 《ひじをつく》 ( < toqoi (тохой) 《ひじ》 )

niyurulda- (нүүрэлдэ-) 《面と向かい合う》 ( < niyur (нүүр) 《顔》 )

/ **Ma. -ncu- ∞ -cu-**

**Si. -ntʂu-**

**Ma. derencu-** 《私情にとらわれる》 ( < dere 《顔》 )

ehecū- 《誹謗する》 ( < ehe 《悪い》 )

**Si. dərəntʂu-** 《私情にとらわれる》 ( < dər 《顔》 )

əxəntʂu- 《誹謗する》 ( < əx 《悪い》 )

<考察>

**Mo.** と **Ma.** の間に何らかの起源的なつながりがあったと仮定すれば、その変化の過程は次のように推定することができようか？

< N→V suffix >

\*-ldu- (? \*-ltu-) > \*-nt'u- > -nčū- > -čū-  
 (Mo.) (Ma.) (Ma.)

⑤ **Mo. -na-, -ne-** ( < -la<sup>2</sup>- ) (語幹末が **m, ng** の後で) (-на‘-)

これは、③ **Mo. -la-, -le-** (N→V) の音韻的に条件づけられた異形態であり、表示する意味は、基本的に **Mo. -la<sup>2</sup>-** と同じである。

samna- (самна-) 《髪をとかす》 ( < sam (сам) 《くし》 )

angna- (агна-) 《狩りをする》 ( < ang (аh(r)) 《狩り》 )

/ **Ma. -na-, -ne-, -no-**

**Si. -nə-** 《生起動詞形成 (～が生ずる、起こる、できる)》

He. -na-, -nə-

Ma: (1) 語幹末が ng の後で (これは歴史的には、Mo.と同様、元来の-la<sup>3</sup>-が鼻音同化によって-na<sup>3</sup>-に変化したものと考えられる。)

šangna- 《賞する》 (<šang (Ch. 賞 (shang)))

gingne- 《はかりで量る》 (<ging (Ch. 斤 (jin)))

gungne- 《敬う》 (<gung (Ch. 恭 (gong)))

(2) (1)以外の音声環境で、《生起動詞形成 (～が生ずる、起こる、できる; ～の状態になる)》。これは、意味的には、Mo. -tu-, -tü- (N→V) に対応するものである。

abdahana- 《葉が出る》 (<abdaha 《葉》)

niyaharana- 《若葉が出る》 (<niyahara 《若葉》)

belgene- 《粒になる》 (<belge 《粒》)

mukene- 《水になる》 (<muke 《水》)

bongkono- 《つぼみができる》 (<bongko 《つぼみ》)

Si: ilχanə- 《花が咲く》 (<ilχa 《花》)

faχənə- 《果実が実を結ぶ》 (<faχ 《果実の種、粒》)

təixənə- 《しらみがわく》 (<təixə 《しらみ》)

He: ilgana- 《花が咲く》 (<ilga 《花》)

ədinə- 《風が吹く》 (<ədin 《風》)

⑥ Mo. -ra-, -re- (-pa<sup>4</sup>-)

《自動詞形成 (～の状態になる)》

qayučira- (хуучира-) 《古くなる》 (<qayučin (хуучин) 《古い》)

kögsire- (хөгшире-) 《年を取る》 (<kögsin (хөгшин) 《年取った》)

/ Ma. -ra-, -re-, -ro-

Si. -rə-, -ru- 《語幹の性質と関係ある動作を表示する》

San. -r-, -ra-, -rə-

Ew. -ra-, -rə- 《その物を対象とする動作を表示する》

He. -ri-

Ma: ambara- 《大きくする》 (<amba 《大きい》)

tašara- 《誤る》 (<tašan 《うそ》)

ehere- 《悪くなる》 (<ehe 《悪い》)

gisure- 《話す》 (<gisun 《言葉》)

monggoro- 《蒙古語を話す》 (<monggo 《蒙古》)



<考察>

**Mo. -ra<sup>2</sup>-**は、専ら自動詞形成に用いられ、この点で **Mo. -la<sup>2</sup>-**（主に他動詞形成、一部自動詞形成）と明確に区別されるのに対し、**Ma. -ra<sup>3</sup>-**は、自動詞形成はもちろんのこと、他動詞形成にもかなり多く用いられ、この点で **Mo.**とは著しく異なる。

**Si:** ant xəre- 《遠慮する》（<ant x 《客》）

bisare- 《あふれる》（<bisan 《洪水》）

xətu- 《さえぎる》（<xətu 《横》）

**San:** mandzū- 《満洲語で話す》（<mandzu 《満洲、満洲人》）

taizə- 《間違える》（<taizən 《誤り》）

ambura- 《増大する、拡大する》（<amba: 《大きい》）

əγre- 《顔色を変える》（<ə:γə 《悪い》）

fatsure- 《乱れる、騒ぐ》（<fa:tʂiɡun 《乱れ、騒ぎ》）

**Ew:** a:wura- 《帽子をかぶる》（<a:wun 《帽子》）

addira- 《感電する》（<addi 《雷》）

**He:** agdiri- 《雷が鳴る》（<agdi 《雷》）

⑦ **Mo. -si-** (-ши-)

《領有動詞形成（～をわがものとする；～の状態になる）》

amtasi- (amtши-) 《味をしめる》（<amta (amt) 《味》）

gemi- (гэмши-) 《後悔する》（<gem (гэм) 《罪》）

→ **Mo. -siya-, -siye-** (-шаа<sup>4</sup>-)

《容認動詞形成（～だとみなす、認める）》

sayisiya- (сайшаа-) 《賞賛する》（<sayin (сайн) 《良い》）

mayusiya- (муушаа-) 《非難する》（<mayu (муу) 《悪い》）

/ **Jur. -ša-**

**Ma. -ša-, -še-, -šo-**

(1) 形態的対応 **Mo. -si-** / **-siya<sup>2</sup>-**

(2) 意味的対応 a. **Mo. -la<sup>2</sup>-** (-bčila<sup>2</sup>-, -čila<sup>2</sup>-)

b. **Mo. -ča<sup>2</sup>-**

**Si. -ši-** 《語幹の意と関係ある動作を表示する》

**San. -za-, -sə-**

**Ew. -fi-, -fi-** 《語幹の性質と関係ある動作を表示する》

**Or. -fi-, -fi-** 《語幹の指す時間を過ごす意を表示する》

/ **-fε:-, -fε:-** 《語幹の性質と関係ある動作を表示する》

**Jur:** *hudaša-* (418) 《売る》 ( cf. **Ma.** *hūda* 《商売》)

**Ma:** (1) 満洲固有語に見られる例

*hūdaša-* 《商売をする》 ( < *hūda* 《商売》)

*bulekuše-* 《鏡にうつす》 ( < *buleku* 《鏡》)

*forgošo-* 《回転する》 ( < *forgon* 《季節》)

蒙古語からの借用語に見られる例

*adališa-* 《よく似る》 ( < *adali* 《同じ、似た》)

( ← **Mo.** *adališiya-* 《同一と見なす》 < *adali* 《同じ》)

*saiša-* 《賞賛する》 ( < *sain* 《良い》) ( ← **Mo.** *sayišiya-* 《id.》 < *sayin* 《id.》)

*tamiša-* 《唇で味わってみる》 ( ← **Mo.** *tamsiya-* 《id.》)

(2) a. 意味的に **Mo.** *-la<sup>2</sup>-* (*-bčila<sup>2</sup>-*, *-čila<sup>2</sup>-*) と対応するもの

*bebuše-* 《子守歌で赤ん坊を寝かしつける》 ( < *bebu* 《ねんねんころり》)

( cf. **Mo.** *bübeile-* 《id.》 < *bübei* 《id.》)

*kebeše-* 《相談する》 ( < *kebe* 《相談》)

( cf. **Mo.** *kebeile-* 《id.》 < *kebei* 《id.》)

*gurguše-* 《獣を狩る》 ( < *gurgu* 《獣》)

( cf. **Mo.** *görögele-* 《id.》 < *göröge* 《id.》)

/ *narhuša-* 《綿密にする》 ( < *narhūn* 《細かい》)

( cf. **Mo.** *naribčila-* 《id.》 < *narin* 《id.》)

/ *nimahaša-* 《魚を捕える》 ( < *nimaha* 《魚》)

( cf. **Mo.** *jiyasučila-* 《id.》 < *jiyasu* 《id.》)

次の例もここに含まれるものであろう。

*jerkiše-* 《目がくらむ》 ( cf. **Mo.** *jergele-* 《目がまぶしい》)

*dohošo-* 《びっこを引く》 ( > **Ma.** *doholon* 《びっこ》)

( cf. **Mo.** *doyoł-* 《id.》 > *dojolang* 《id.》)

b. 意味的に **Mo.** *-ča<sup>2</sup>-* と対応するもの

*karuša-* 《ねばり強く報復する》 ( < *karu* 《報い》)

( cf. **Mo.** *qariyuča-* 《責任をとる》 < *qariyu* 《返事》)

*serguweše-* 《涼む》 ( < *serguwen* 《涼しい》)

( cf. **Mo.** *serigiče-* 《id.》 < *serigün* 《id.》)

**Si:** *fafurši-* 《奮闘する、発奮する》 ( < *fafuri* 《勇敢な》)

*mal χ uši-* 《儉約する》 ( < *mal χ un* 《儉約な》)

*maṅši-* 《拘束する》 ( < *maṅ* 《困難な》)

*atxuši-* 《強がる》 ( < *atxun* 《強情な》)

**San:** *xuda:za-* 《貿易をする》 ( < *xuda: ~ xuda:* 《商売、値段》)

*sərkuša-* 《涼む》 ( < *sərkun* 《涼しい》)

**Ew:** ajafi- 《ほめる》 (< aja 《良い》)

ərufi- 《けなす》 (< əru 《悪い》)

**Or:** dɔlbofi- 《夜を過ごす》 (< dɔlbo 《夜》)

dʒogafi- 《夏を過ごす》 (< dʒoga 《夏》)

tuwəfi- 《冬を過ごす》 (< tuwə 《冬》)

nəlkifi- 《春を過ごす》 (< nəlki 《春》)

/ ajafɛ:- 《ほめる》 (< aja 《良い》)

nifukufɛ:- 《見くびる》 (< nifukun 《小さい》)

⑧ **Mo. -tu-, -tū-** (-та<sup>4</sup>-)

《生起動詞形成 (～が生ずる、起こる、できる; ~の状態になる)》

čangtu- (цанта-) 《白霜がおりる、白霜でくもる》 (< čang (цан) 《白霜》)

gkirtū- (хиртэ-) 《汚れる、汚くなる》 (< gkir (хир) 《汚れ》)

/

**Ma. (1)** 形態的対応 **-tu-** (非生産的)

**(2)** 意味的対応 **-na-, -ne-, -no-**

**Si. -tə-**

**Or. -tu-** 《語幹の指す物が発生する意を表示する》

**Ma: (1) ulintu-** 《わいろを使う》 (< ulin 《貨財》)

**(2) Ma. -na-, -ne-, -no-** (N→V) の項参照。

**Si:** suante- 《霜がおりる》 (< suag 《霜》)

carinte- 《宴会を行う》 (< carin 《宴席》)

**Or:** kumkətu- 《しらみがわく》 (< kumkə 《しらみ》)

uktətu- 《しらみの卵がつく》 (< ukta 《しらみの卵》)

#### 4. 出動動詞接尾辞 (Deverbal verbal suffixes/V→V)

##### A) Voice (態)

① **Mo. -lča-, -lče-** (-лца<sup>4</sup>-)

《 a. 共同 (共に～する)、 b. 相互 (互いに～する)》

tanilča- (танилца-) 《知り合いになる》 (< tani- (тани-) 《知る》)

kelelče- (хэлэлцэ-) 《話し合う》 (< kele- (хэлэ-) 《話す》)

/ **Ma. -ca-, -ce-, -co-** 《共同 (共に、一斉に～する)》

**Si. -tʃə-** 《相互態表示》

- Ma:** ilica- 《一斉に立つ》 ( < ili- 《立つ》 )  
injece- 《共に笑う》 ( < inje- 《笑う》 )  
songgoco- 《共に泣く》 ( < songgo- 《泣く》 )  
**Si:** maχtətʃə- 《一斉に賞賛する》 ( < maχtə- 《賞賛する》 )  
ləulətʃə- 《一斉に議論する》 ( < ləulə- 《議論する》 )

② **Mo. -ldu-, -ldü-** (-лда<sup>4</sup>-)

《 a. 相互 (互いに~する)、 b. 共同 (共に~する) 》

barildu- (барилда-) 《相撲を取る》 ( < bari- (бари-) 《つかむ、握る》 )

temečeldü- (тэмчэлдэ-) 《闘い合う》 ( < temeče- (тэмчэ-) 《闘う》 )

/ **Ma. -ndu-, -nu-** ( < -нду- )

《共同 (共に、一斉に~する)、相互 (互いに~しあう) 》

**Si.** -нду-, -ну-, -ldzi- 《相互態表示》

**Ew.** -ldɪ-, -ldi- 《動作主はただ一人ではなく、一緒に行ったり、互いに行ったりする》

**Or.** -ldɪ-, -ldi- 《動作主はただ一人ではなく、協同して行う》

**Ma:** temšendu-, temšenu- 《共に争う、互いに争う》 ( < temše- 《争う》 )

arandu-, aranu- 《一斉に作る》 ( < ara- 《作る》 )

aisilandu-, aisilanu- 《一斉に助ける、互いに助ける》 ( < aisila- 《助ける》 )

**Si:** dyrxundu- 《口げんかし合う》 ( < dyrxu- 《口げんかする》 )

dyrynu- 《奪い合う》 ( < dyry- 《奪う》 )

tanduldzi- 《なぐり合う》 ( < tandə- 《打つ、なぐる》 )

(ただし、錫伯文語では、tandanu- < tanda-である。)

**Ew:** dʒawaldɪ- 《相撲を取る》 ( < dʒawa- 《つかむ》 )

mə:ldʒə:ldi- 《一緒に試合をする》 ( < mə:ldʒə:- 《試合をする》 )

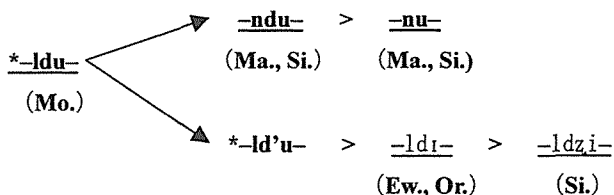
**Or:** mɔɔda:ldɪ- 《一斉に打つ》 ( < mɔɔda:- 《打つ》 )

ɔənəldi- 《一緒に行く》 ( < ɔənə- 《行く》 )

<考察>

これらの接尾辞は、次のような変化過程を経て成立したものと推定される。

< V → V suffix >



B) Aspect (相)

① **Mo. -la-, -le-** (-ла<sup>4</sup>-)

《反復アスペクト (何度も～する)》

**čokila-** (цохило-) 《何度もたたく》 (< **čoki-** (цохи-) 《たたく》)

**giskile-** (гишгэлэ-) 《何度も踏む》 (< **giski-** (гишгэ-) 《踏む》)

/ **Ma. 意味的対応 -ša-, -še-, -šo-** 《持久アスペクト》

(Ew. -t- 《多回アスペクト》)

**Or. (1)** 形態的対応 -lat-, -lət-, -lot-, -lot- (< **-la<sup>4</sup>-** + **-t-**)

(2) 意味的対応 -ša-, -šə-, -šo-, -šo- (1)、(2) とともに《持久アスペクト》

**Ma: tataša-** 《ひたすら引っぱる》 (< **tata-** 《引く》)

( cf. **Mo. tatala-** 《何度も引く》 < **tata-** 《引く》)

**naraša-** 《ひたすら夢中になる》 (< **nara-** 《夢中になる》)

**nemeše-** 《絶えず増加する》 (< **neme-** 《増加する》)

**holtošo-** 《常に偽る》 (< **holto-** 《偽る》)

(Ew: **mondət-** 《ずっと打つ》 (< **monda-** 《打つ》)

**Or: (1)** **dšawalat-** 《ずっとつかむ》 (< **dšawa-** 《つかむ》)

(2) **ififə-** 《ずっと見る》 (< **ifi-** 《見る》)

② **Mo. -lja-, -lje-** (-лза<sup>4</sup>-)

《反復アスペクト (何度も～する)》

**angyalja-** (ангалза-) 《(口を)パクパクする》 (< **angyayi-** (ангай-) 《(口を)開ける》)

**gilalja-** (гялалза-) 《キラキラ光る》 (< **gilayi-** (гялай-) 《光る》)

/ **Ma. (1)** 形態的対応 a. **-nja-, -nje-, -njo-**

(cf. A)–② **Mo. -ldu<sup>2</sup>-** (V→N) : **Ma. -ndu-**

b. **-rja-, -rje-, -rjo-**

(-l-もち語幹と **Mo. -lja<sup>2</sup>-**との異化により生じた形式か?)

(2) 意味的対応 **-ša-, -še-, -šo-**

(cf. B)–① **Mo. -la<sup>2</sup>-** (V→V) : **Ma. -ša<sup>3</sup>-**

**Ma: (1)** a. 満洲固有語に見られる例 《《ずっと～する》の意を表示する。)

**gūninja-** 《思いめぐらす、思案する》 (< **gūni-** 《思う》)

**ulhinje-** 《おいおい悟る》 (< **ulhi-** 《悟る》)

**golonjo-** 《しきりに恐れる》 (< **golo-** 《驚く、恐れる》)

次の例は蒙古語からの借用語であろうが、この対応をなすものである。

**tathûnja-** 《ためらう》 (<tata- 《引く》) (< ← Mo. **tatayalja-** 《id.》 <tata- 《id.》)

b. 蒙古語から借用されたと思われる例

**fularia-** 《(顔が)赤く輝く》 (< ← Mo. **ulalja-** 《赤くきらめく》 < **ulayi-** 《赤くなる》)

**gilmarja-** ~ **gilmerje-** ~ **gelmerje-** 《ピカピカに輝く》

(← Mo. **gilbalja-** ~ **gilbelje-** 《ピカピカ光る》 < **gilba-** ~ **gilbe-** 《パッと光る、まぶしい》)

(2) 主に蒙古語からの借用語に多く見られる例

**sirbaša-** 《(犬などが)尾をふる》

(← Mo. **sirbalja-** 《尾をしきりにふる》 < **sirba-** 《尾をふる》)

**sarbaša-** 《二人が互いに相手の体をつかみ手足を動かして争う》

(← Mo. **sarbalja-** 《手足をばたつかせる》 < **sarbayi-** 《手足を伸ばす》)

**kelfiše-** 《(船や心が)揺れる》 (< **kelfi-** 《傾く》)

(← Mo. **kelbelje-** 《揺れる、動揺する》 < **kelbeyi-** 《傾く》)

**bilgeše-** 《水がまさにあふれようとする》 (< **bilge-** 《あふれる》)

(← Mo. **bilqalja-** 《id.》 < **bilqa-** 《id.》)

<考察>

(2)の **Ma. -ša<sup>3</sup>-**は、先に述べた B)-① **Mo. -la<sup>2</sup>-** (V→V) : **Ma. -ša<sup>3</sup>-** の意味的対応に基づき、ここでは、同様に **Mo. -lja<sup>2</sup>-** の意味的対応と見なしたが、主に蒙古語からの借用語に多く見られることから、

$$\underline{*-lja-} > \underline{-*ja-} > \underline{-ša-}$$
(Mo.)
(Ma.)

という変化過程を被った可能性もある。

## 5. 出小動詞接尾辞 (Departicle verbal suffixes /P→V)

A) Unproductive variable root (非生産的変化語根) → V

① **Mo. -l-** (-л-)

《他動詞形成 (一度だけ~する)》

**quyuł-** (хугагд-) 《折る、こわす》 (< **quyu** (хуга) 《分離・破壊表示  
(ボキッ、パチッ)》)

**delbeł-** (дэлбэлд-) 《爆発させる》 (< **delbe** (дэлбэ) 《爆発・破裂表示  
(バーン、ボーン)》)

/ **Ma. -la-, -le-, -lo-** 《他動詞形成》

**hūwala-** 《破る、壊す》 (< **hūwa** 《まっぷたつに、こなごなに》)

( cf. Mo. **quyuł-** 《折る、こわす》 < **quyu** 《分離・破壊表示》)

**multule-** 《ほどく、ゆるめる》 ( cf. **multuje-** 《ほどける、はずれる》)

- ( cf. Mo. **multu**ᠯ- 《はずす、ほどく》 < **multu** 《離脱・分離表示》 )  
**subkele**- 《(糸を)引き出す、ほどく》 ( cf. **subkeje**- 《(糸が)ほどける》 )  
( cf. Mo. **seme**ᠯ- 《ほどく》, **semere**- 《ほどける》 )  
**fondolo**- 《穴をあける》 ( < **fondo** 《貫通した》 )

② **Mo. -ra-, -re-** (-pa'-)

《自動詞形成 (～になる)》

**quyura**- (хугара-) 《折れる、こわれる》 ( < **quyu** (хура) 《同上》 )

**delbere**- (дэлбэрэ-) 《爆発する》 ( < **delbe** (дэлбэ) 《同上》 )

/ **Ma. 意味的対応 -ja-, -je-, -jo-** 《自動詞形成》

**hūwaja**- 《破れる、壊れる》 ( < **hūwa** 《まっぶたつに、こなごなに》 )

( cf. Mo. **quyura**- 《折れる、こわれる》 < **quyu** 《分離・破壊表示》 )

**multuje**- 《ほどける、はずれる》 ( cf. **multule**- 《ほどく、ゆるめる》 )

( cf. Mo. **multura**- 《はずれる、ほどける》 < **multu** 《離脱・分離表示》 )

**subkeje**- 《(糸が)ほどける、ほぐれる》 ( cf. **subkele**- 《(糸を)ほどく》 )

( cf. Mo. **semere**- 《ほどける》, **seme**ᠯ- 《ほどく》 )

**fondojo**- 《穴があく》 ( < **fondo** 《貫通した》 )

B) **Onomatopoeia** (擬声語) → V

① **Mo. -ra-, -re-** (-pa'-)

**mögere**- (мөөрө-) 《(牛が)モーと鳴く》 ( < **möge** (мөө) 《モー》 )

**kekere**- (хэхрэ-) 《げっぶをする》 ( < **keke** (хэх) 《げっぶ》 )

/ **Ma. -ri-**

**miyari**- 《羊がメエーと鳴く》 ( < **miyang, miyar** 《メエー、鹿や羊の子が鳴く声》 )

② **Mo. -si-** (語幹末が -γ / -g, -ng の後で) (-ши-)

**toysi**- (тогши-) 《(扉を)ノックする》 ( < **toy** (тог) 《トントン》 )

**tügsi**- (түгши-) 《(心臓が)ドキドキする》 ( < **tüg** (түг) 《ドキドキ》 )

/ **Ma. -si-**

**toksi**- 《たたく、軽く打つ》 ( < **tok** 《トントン》 )

## 参考文献

各言語の語例に関しては、次のものを参考にし引用した。

### 蒙古文語:

Lessing, F. D. (1960), *Mongolian-English Dictionary*, Berkeley and Los Angeles.

Lubsangjab, Č. (1992), *Mongyol bičig-ün qadamal toli*, Ulaanbaatur.

### 蒙古文語、モンゴル語ハルハ方言の接尾辞:

塩谷茂樹 (1985)、『現代モンゴル語ハルハ方言における語構成分析—特に派生接尾辞を中心とした考察』(付録)『共通蒙古語における接尾辞の形態的構造の分析』、大阪外国語大学提出卒業論文。

塩谷茂樹 (1992)、「中国領内の蒙古系孤立的諸言語における接尾辞一覧・蒙古文語索引」、『日本モンゴル学会紀要』第23号、pp.165-199、東京。

塩谷茂樹・E.プレブジャブ著 (2001)、『初級モンゴル語』、pp.173-179、191-195、大学書林、東京。

\* 本稿の全体の枠組み、及び各接尾辞の表示する意味、異形態など詳細に関しては、すべて塩谷 (1985) に拠った。

### 女真語:

Kiyose, Gisaburo N. (1977), *A Study of the Jurchen language and script*, Hōritsubunka-sha, Kyoto.

道爾吉・和希格 著 (1983)、『女真訳語研究』、内蒙古大学学报増刊、呼和浩特。

Kane, D. (1989), *The Sino-Jurchen vocabulary of the bureau of interpreters*, Uralic and Altaic Series, Volume 153, Indiana University, Bloomington.

\* 女真語の音価の決定に関しては、道爾吉・和希格 (1983)、Kane (1989) も参考にしたが、基本的には Kiyose (1977) より引用し、その整理番号をカッコに入れて付した。

### 満洲文語:

羽田亨 編著 (1937)、『満和辞典』、京都。

福田昆之 編 (1987)、『満洲語文語辞典』、FLL、横浜。

胡増益 主編 (1994)、『新満漢大詞典』、新疆人民出版社。

### 満洲文語の接尾辞:

Rozycki, W. (1981), *A reverse index of Manchu*, Uralic and Altaic series, Volume 140, Indiana University, Bloomington.

胡増益 主編 (1994)、『新満漢大詞典』、pp.906-909、新疆人民出版社。

河内良弘 著 (1996)、『満洲語文語文典』、pp.81-83、132-136、京都大学学術出版会、京都。

津曲敏郎 著 (2002)、『満洲語入門 20 講』、pp.71-78、大学書林、東京。



### 錫伯語:

山本謙吾 著 (1969)、『満洲語口語基礎語彙集』、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、東京。

李樹蘭・仲謙・王慶豊 編 (1984)、『錫伯語口語研究』、民族出版社、北京。

\* 一部、山本 (1969) を参考にしたが、基本的には李樹蘭他 (1984) より引用した。

### 三家子満洲口語:

清格爾泰 (1982)、「満洲語口語語音」、『《内蒙古大学学报》紀念校慶二十五周年專刊學術論文集』、呼和浩特。

恩和巴圖 著 (1995)、『満語口語研究』、内蒙古大学出版社、呼和浩特。

\* 一部、清格爾泰 (1982) を参考にしたが、基本的には恩和巴圖 (1995) より引用した。

### 鄂温克語:

賀興格・其達拉圖・阿拉塔 編 (1983)、『鄂温克語蒙漢対照詞彙』、民族出版社、北京。

胡增益・朝克 編著 (1986)、『鄂温克語簡誌』、民族出版社、北京。

\* 基本的には後者 (1986) より引用した。

### 鄂倫春語:

胡增益 編著 (1986)、『鄂倫春語簡誌』、民族出版社、北京。

韓有峰・孟淑賢 著 (1993)、『鄂倫春語漢語対照読本』、中央民族学院出版社、北京。

\* 基本的には前者 (1986) より引用した。

### 赫哲語:

安俊 編著 (1986)、『赫哲語簡誌』、民族出版社、北京。

その他、若干以下の文献を参考にした。

Санжеев, Г. Д. (1930), “Маньчжуро-монгольские языковые параллели”, Известия Академии Наук СССР, No.8, pp.601-626 ; No.9, pp.673-708, Ленинград.

出村良一 (1930)、『満洲語及び通古斯語に於ける動詞転化の接尾辞に就いて (上・下)』、『東洋学報』、18:3、pp.388-416、18:4、pp.490-527.

Ramstedt, G. J. (1952), “Einführung in die Altaische Sprachwissenschaft, II FORMENLEHRE”, *Mémoires de la Société Finno-Ougrienne*, 104 : 2, Helsinki.

Лувсанжав, Ч., Шархүү, Ц. (1968), *Манж монгол толь бичиг*, Улаанбаатар.

Миждидорж, Г. (1976), *Монгол, манж бичгийн хэлний харьцаа*, Улаанбаатар.

池上二良 (1989)、「ツングース諸語」、亀井孝・河野六郎・千野栄一 編著『言語学大辞典』2、三省堂、東京。

朝克 著 (1997)、『満-通古斯諸語比較研究』、民族出版社、北京。

津曲敏郎 著 (2002)、『満洲語入門 20 講』、大学書林、東京。

(2003. 10. 1 受理)